

令和6年度
多摩区地域デザイン会議×地ケアフォーラム

開催報告書

令和7年3月

目次

1	開催概要.....	1
2	第1部：講演とパネルディスカッションで気づきを得よう！	4
3	第2部：地域活動団体の話を聞いてみよう！	14
4	区民の意見聴取	18
5	資料編.....	26

1 開催概要

(1) 目的

多摩区地域デザイン会議は、より多くの区民の参加機会の拡充及び多様な市民意見を聴取し地域課題の解決につなげていくことを目的に開催している。

今年度の多摩区地域デザイン会議は、「地域でのつながりのつくりかた」をテーマとしており、地域で何か始めたいと考えつつもまだできていない人を主な対象とし、講演会や地域活動団体による活動紹介を通じて地域の「居場所」や「つながり」を見つけるきっかけをつくることを目的に、令和4年度から開催している地ケアフォーラムとそのテーマ及び開催目的が合致したことから、合同で「地域活動マッチングイベント 地域のつながり！たまたまみつけ！」として開催した。

(2) 開催日時

令和7年1月25日（土） 10時00分～12時30分

(3) 会場

多摩市民館 3階、4階

(4) 参加者

No.	分類	備考	人数（人）
1	一般参加者		70
2	団体関係者	・多摩区観光協会ガイド部会 ・多摩エコスタイルプロジェクト ・多摩区ウォーキング推進委員会 ・多摩区認知症カフェ・地域カフェ交流連絡会 ・(一社)多摩区ソーシャルデザインセンター ・認定NPO法人かわさき創造プロジェクト ・多摩区こどもの外遊び交流委員会 ・マチノパズル ・多摩区自主防災組織連絡協議会 ・多摩区町会連合会 ・まほろばの会 ・多摩区内の公園緑地愛護団体 ・多摩区民生委員児童委員協議会 ・多摩サポーターズ ・川崎市多摩区社会福祉協議会(ボランティア事業)	42
3	登壇者	・かのう ひでとし 和 秀俊 教授 ・かどや きょういち 角谷 恭一 氏 ・はしもと よしあき 橋本 宜明 氏 ・ことう めぐみ 古藤 仁 氏 ・あんどう よしひろ 安藤 芳宏 氏	5
4	区役所関係者		15
計	—	—	132

(5) 次第

【第1部：講演とパネルディスカッションで気づきを得よう！】10:00～11:00

- 開会あいさつ 多摩区役所 佐藤区長
- 講演 田園調布学園大学人間福祉学部 教授 和 秀俊 氏
地域活動の意義等についての基調講演
- 事例紹介 橋本 宜明 氏（多摩区ソーシャルデザインセンター副代表）
地域活動の実践者による「令和5年度車座集会で生まれた活動」についての紹介
- パネルディスカッション
“地域活動の実践者”、“最近活動を始めた人”、“まだ始めていない人”が登壇し、和教授と地域活動を語り合う。

【第2部：地域活動団体の話を聞いてみよう！】11:00～12:30

多摩区で活動している団体がブースを設け、取組を紹介

- 第2部の楽しみ方説明 多摩区役所地域ケア推進課 杉本係長
- 活動団体ブース巡り
- ちょこっと活動見学申し込み
活動団体の話を聞いて興味を持った方は、団体の活動見学に申し込んでいただく。

(6) 啓発グッズ

第2部で2団体以上のブースで説明を聞いた参加者先着150名に対し、オリジナルエコバッグをプレゼントした。



オリジナルエコバッグ デザイン解説

地域包括ケアシステム
[the Community-based Integrated Care System]
川崎市では、誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域を目指して、地域包括ケアシステムの構築を進めています。

地ケア TAMA [Chikea TAMA]
「地ケア」は、地域包括ケアシステムの略称です。
多摩区では、「地ケア TAMA」という広報紙を発行しています。

鳥のイラストと消印のデザイン
多摩区のシンボルマークから着想を得て鳥のイラストを差し込みました。全体を消印風のデザインにすることで、鳥が羽ばたいている様子を表現しています。

ちょこっと解説！多摩区シンボルマーク
多摩区の頭文字である「多」をモチーフに、緑豊かな自然環境を表現する二羽の鳥にデザインされています。自然との調和の中で、人間らしくのびのびと生活する区民と、21世紀へ向け飛躍する多摩区を親しみやすくシンボライズしたものです。

令和6年度地ケアフォーラム×地域デザイン会議
地域活動 マッチングイベント
地域のつながり！
なまみつけ！

上記デザイン解説を、エコバッグに挟み込み配布した。

【参考】次第「イベントの楽しみ方」(当日配布)

令和6年度地ケアフォーラム×地域デザイン会議
地域活動マッチングイベント

地域のつながり! たまたまみつけ! イベントの楽しみ方

Step1 第1部 10:00～11:00 @3階 大会議室

講演とパネルディスカッションで気づきを得よう!

地域福祉が専門の和教授の講演を聞くと、「なぜ地域や
人とのつながりが大切なのか」が腑に落ちる!

地域活動を“実際にやっている人”、“最近始めた人”、“ま
だ始めてない人”の想いを知ること、地域活動が身近に感
じられる!



田園調布学園大学
人間福祉学部 教授
地域交流センター長
和田 秀俊 氏

配布物一覧

- ☐ イベントの楽しみ方 (この用紙)
- ☐ 資料1 講演資料
- ☐ 資料2 令和5年度の車座集会で生まれた活動について
- ☐ 資料3 パネルディスカッション登壇者プロフィールシート
- ☐ 資料4 活動団体紹介シート
- ☐ 資料5 フロアマップ&ブース早見表
- ☐ 資料6 ちょこっと活動見学一覧
- ☐ 資料7 アタマの健康チャレンジについて
- ☐ 資料8 アンケート

Step2 第2部 11:10～ @3,4階 各部屋

地域活動団体の話を聞いてみよう!

地域活動への気持ちが高まったところで、実際に活動して
いる団体の話を詳しく聞いてみよう!

◆ポイント

まずは興味のある団体から

『活動団体紹介シート』で団体の概要を知る!

『フロアマップ&ブース早見表』でブースの場所がわかる!

すべての団体を巡るのもよし

関心の薄かったジャンルに素敵な出会いが待っているかも?

第1部は座って聴講、第2部は各
部屋を自由に歩いて巡るんだね!



Step3 11:20～12:30 @3階 大会議室

ちょこっと活動見学に申し込んでみよう!

百聞は一見に如かず! 少しでも興味・関心が湧いた
ら迷わず活動見学を!

◆ポイント

区の職員が同行するので心細くない!

◆申し込み

・3階大会議室で11:20から受付を開始します

※第2部の各ブースに活動見学の行程表を掲示します

※活動見学を設けていない団体もあります



活動見学に申し込んで、やりがい
に満ちた生活のきっかけを掴もう!

Step4 11:30～12:30 @3階大会議室前総合受付

オリジナルエコバッグをもらおう!

次の条件を満たしたアンケートを提出すると、**オリジナルエコ
バッグをプレゼント!**

◆条件

**“第2部で説明を聞いた団体を尋ねる設問”
で2つ以上の団体にチェックが入っている**

◆まだ帰らないけどエコバッグを受け取っておきたい方は
上記設問にチェックが2つ以上入っているアンケートを見せるこ
とで、プレゼント! (お帰りの際に提出をお忘れなく!)

◆配布場所(アンケート回収)

3階大会議室前の総合受付で

11:30から配布します



画像はイメージです

2 第1部：講演とパネルディスカッションで気づきを得よう！

第1部では、和教授の講演で「なぜ地域や人とのつながりが重要なのか」について理解を深め、橋本氏の事例紹介で、地域活動を通じてつながりが広がっていく事例について共有した。その後、既に地域活動を実践されている方、地域活動を新たに始めた方、まだ始めていない方に御登壇いただき、地域活動について和教授とパネルディスカッションを行った。

(1) 基調講演「地域・人とつながるってなんだろう？」 和 秀俊 教授

【概要】

「地域・人とつながることがなぜ必要なのか、理想的なつながり方とは」をテーマに、統計調査やインタビュー調査の結果を基にした地域・人とのつながりの重要性の考察や、定年退職者の地域デビューの必要性について、和教授に御講義いただいた。

(主な内容等)

- 地域・人の「つながり」の必要性について
- 川崎市高齢者実態調査から学ぶ、平均寿命の長さの要因の傾向
- インタビュー調査から見る長寿の要因
- 理想的な「つながり」とは？
- 定年退職者の地域デビューの必要性

※講演スライドは、資料1を参照。

(2) 事例紹介「令和5年度の車座集会で生まれた活動について」 橋本 宜明 氏

【概要】

令和5年度車座集会（令和6年2月18日（日）開催）において、「地域でのつながりのつくりかた」について話し合う中で生まれたアイデアが、その後、具体的な地域活動となった事例の一つについて、企画・主催者の橋本氏から紹介していただいた。

※車座集会を契機に動き出した取組は他にもあるが、本イベントにおいては時間等の都合上、一事例の紹介とさせていただいた。

(主な内容等)

- 令和5年度車座集会での提案内容
- カラフルカフェについて
- 今年度のカラフルカフェの実績

※講演スライドは、資料2を参照。

(3) パネルディスカッション

【概要】

既に地域活動を実践されている方、地域活動を新たに始めた方、まだ始めていない方に御登壇いただき、「地域活動を始めたきっかけ」「実践している地域活動をもっと盛り上げていくには」「これから地域活動を始めるきっかけづくり」等について、和教授の進行の下、語り合っていたいただいた。

既に登壇した和教授、橋本氏を除く3名、角谷氏、古藤氏、安藤氏からの自己紹介の後、パネルディスカッションを行った。

(登壇者プロフィール)

No.	氏名	職業	年齢	主な活動 (生活) エリア	地域で活動を始めた、始めようと思ったきっかけ
1	あんど うしひろ 安藤 芳宏	会社員	50代	中野島周辺	11年前、相模原から多摩区へ引っ越してきた。2年前までは、南生田で子供がサッカーをやっていた関係で、地域とのつながりがあったが、それが終了してからはつながりが無くなってしまった。 勤務先が中野島のため、仕事で地域との関係はあるが、異動すればそれも無くなってしまう。定年後、孤立してしまうのでは、という不安があり、何かしなければ、という思いはあるが、どのように地域とつながればよいのかかわからない。今回のパネルディスカッションをきっかけとして、地域とのつながりづくりができれば、と考えている。
2	かどや きょういち 角谷 恭一	会社員	60代	登戸、向ヶ丘遊園周辺	30年ほど、登戸・中野島に在住。今年60歳となり、3月末で退職予定。 会社では、50歳頃から、定年退職後を見据えた研修等があったが、地域とのつながりづくり、という論点のものではなかった。 5年ほど前から、退職後の「第3の居場所」として地域活動をしたいと考えはじめ、インターネットで多摩区ソーシャルデザインセンターの存在を知り、2年前から参画した。
3	ことう めぐみ 古藤 仁	会社員	40代	登戸周辺	普段は、都内で勤務。子どもが大きくなり、ママ友との関係が薄れたことで、子育て中の地域とのつながりが途切れてしまった。川崎が地元ではないので、ママ友以外の知り合いがいなかったため、孤立感を感じていた。また、親の介護が落ち着いたことで、時間に余裕ができた。 そんな折、2年ほど前に、和教授の「地域でのつながりの重要性」についての講演を聞いたことがきっかけで、地域活動への参画を開始。現在では、多摩ふれあいまつりの実行委員（障害啓発のイベント。毎年6月に市民館で開催）、車いすの外出支援、市民記者（川崎市内の市民活動を紹介する活動）等、様々な活動を行っている。
4	はしもと よしあき 橋本 宜明	会社員	50代	中野島周辺	熊本出身。2019年に中原区から多摩区に引っ越してきたため、地の利が無く、地域コミュニティへの入りづらさを感じていた。 多摩区ソーシャルデザインセンターには立上げの検討会から参加し、現在は副代表を務める。 勤務する会社が実施するセカンドキャリアに向けた研修の中で、ソフトランディングの重要性を強く認識。定年退職された会社の大先輩が、寂しそうに多摩川河川敷で佇んでいる様子を偶然目にしたことで、更なる思いを強くした。 そうしたこともあり、誰でも参加出来る、地域でゆるいつながりを作ることをコンセプトにした「カラフルカフェ」を企画・実施している。

【パネルディスカッション書き起こし】

(角谷氏)

中野島に住んでいます。30 数年前、ラゾーナ川崎ができる前、東芝の工場が立ち並ぶ川沿いの会社に勤めていました。その時に結婚し、登戸の社宅に住むことになりました。それからずっと多摩区内に住み続けています。

子どもは独立、結婚して中原区に住んでいます。私と妻は二人で暮らしています。

今年 60 歳になり、3 月の退職に向けて、手続きを進めているところです。

2～3 年前に多摩区ソーシャルデザインセンターの存在を知り、勇気をもって参加して、現在はカラフルカフェを橋本さんと一緒に運営しています。

(古藤氏)

普段は、都内で会社員をしています。20 年くらい登戸に住んでいますが、親戚も知り合いもないので、子どもが生まれるまでは、地域とのつながりは全くなく、会社と自宅を往復するだけでした。

子どもが生まれたことで、地域の方との交流が少し増えましたが、親の介護が忙しくなり、地域とのつながりは薄れてしまいました。

ここ最近では、子どもが大きくなり、親の介護も落ち着いたことで、自分の時間ができましたが、あらためて、地域に知り合いがおらず、寂しさを感じるが増えました。

そんな折、2 年前に和先生の地域のつながりの重要性についての講演を聞いたことがきっかけとなり、地域活動を始めることとなりました。

(安藤氏)

福島で生まれまして、相模原に住んでいました。子どもが小学校に入学するタイミングで多摩区に引っ越してきました。現在は南生田に住んでいます。

仕事では地域とのつながりがあるのですが、定年退職後はつながりが無くなってしまいます。また、子どもがサッカークラブに入っていたので、コーチ等をやることで地域とのつながりはありましたが、それもなくなると、本当に何のつながりも無くなってしまい、と思いまして、地域とつながるきっかけがほしい、と思い、本日参加しました。

(和氏)

それでは、皆さんが地域活動に参加するようになったきっかけについて、少し詳しく教えていただければと思います。橋本さんからよろしいですか。

(橋本氏)

私は 2019 年に中原区から多摩区に引っ越してきました。子どもが私立の学校ということもあり、本当に地域とのつながりがありませんでした。

ちょうどその時、川崎市が、7 区でソーシャルデザインセンターの検討を始める、ということを知り、飛び込みで検討会に参加させていただきました。それをきっかけとして、多摩区ソーシャルデザインセンターと関わるようになりました。

(和氏)

一般的に、地域デビューのきっかけは2通りあって、1つは、町内会・自治会の役員に輪番かもしれないが選ばれる、というもの、もう1つは、広報を見て、「これに参加してみようかな」と思って参加してみる、というものです。ソーシャルデザインセンターという、一見よく分からないものに食いついた、というのは、何かフックとなるものがあったのでしょうか。

(橋本氏)

たまたま私の勤務先が40～50代向けにキャリア研修を実施しており、セカンドキャリアについて切実に考える機会がありました。また、定年退職した職場の大先輩が、多摩川沿いで寂しそうに佇んでいる様子を目にしたこともきっかけとなりました。その方も私と同様に地の利が無く、地域で居場所が無かったので、10年後、自分も同じ姿になってしまう、という危機感を当時持っていた、ということもありました。

(和氏)

先輩が社会的孤立をしている姿、というのは大変なインパクトがあったかと思います。角谷さんは、地域活動を始めたきっかけはどのようなものでしたか。

(角谷氏)

3つくらい同時多発的なきっかけがあったかと思います。まずは、私も会社のネクストキャリアを考える研修を受けて、退職後の自分のあり方について考えさせられました。そんな時期に、子どもが小学生の頃、公園の清掃や通学路の交通整理等で中核的に活動していた酒屋さんが、まだその活動を続けている様子を目にしました。さらに、「社会をデザインする企画を考える」という仕事をしている中で、「ソーシャル」や「デザイン」というキーワードで検索していたところ、「多摩区ソーシャルデザインセンター」の情報を目にしました。

こうしたきっかけが重なったこともあり、地元で近い、ということもあったので、3年間の活動報告書を閲覧できるタイミングで、区役所1階にある事務所に顔を出してみて、その流れで参画することになりました。

(和氏)

「デザイン」という言葉は人を引き付けるものがあるのかもしれないですね。自然が豊かなところはアーティストやクリエイターが多いです。多摩区も生田緑地など自然がたくさんありますが、画家やアーティストが多いです。

「ソーシャル」＝「社会的」な課題解決を目指す企業も増えてきている中で、地域デビューしようかな、と考えている人からすると、「ソーシャルデザインセンター」という名称は、とっつきやすい印象があるのかもしれない。

一方、安藤さんは、橋本さんや角谷さんのように会社の中で定年退職後を見据えた研修等の仕組みはあるのですか。

(安藤氏)

会社主導ではなく、自分で研修等を調べて参加するなど自発的に動かないといけません。

私は福島の生まれで、子どもの頃は地域のお祭り等によく参加していましたが、引っ越してからは、元々出来上がっている地域の輪の中になかなか入って行きづらいし、誘ってもらうことも難しい状況がありました。将来は孤独になってしまうのではないかと、という不安があり、地域活動に参加しなければ、という思いがあります。

(和氏)

お仕事柄、地域の方と対話する機会が多いと伺っていますが、退職と同時にそれもなくなくなってしまいますし、さらに、仕事がお忙しいということで、つながる時間が無い、となると不安がありますよね。

(安藤氏)

仕事が終わってから何か活動する、となると、夜しか時間が無い、ということになってしまいます。

(和氏)

カラフルカフェは、終了後みんなで飲食もする、とのことですが、夜など、現役世代の方も参加できるような時間帯での開催はあるのでしょうか。

(橋本氏)

今年度は第2土曜日の夕方16時から開催、ということで、現役世代の方も参加できるように日時設定しています。内容的には、2時間ぐらい真面目な内容でワークショップ等を行い、18時からは乾杯、という流れになっていますので、会社員の方等、働いている方も参加できるようにはなっています。

(和氏)

現役世代が参加できる日時設定というのは非常に重要ですね。地域活動というのは平日日中に行われることが多いので、私自身も現役世代ですから、なかなか参加できません。土日や仕事が終わった後の時間で活動できれば、それがサードプレイスになる、という人は多いと思います。

もう一点、先ほど安藤さんから「地元では地域のお祭りによく参加していたが、引っ越してからはなかなか地域の輪に入れなかった」というお話がありました。私も、今では町内会の防災部長をやっていますが、最初は地域のお祭りに顔を出す程度で、さらに深く踏み込んで輪の中に入るのは心のハードルが高かったです。私の町会はオープンマインドの方が多いので、新参者の私をウェルカムという雰囲気がとても有り難かったです。地縁に基づく関係というのは、「結束型＝しがらみ」が多く、新参者はなかなか入りづらいです。それは、地方でも都市部でも共通の課題です。そこを一步踏み出して地域デビューするには、何か違う仕掛けが必要なのか、もしくは、町内会・自治会の活動自体が多様性や開放性を持ったものになっていく必要があるのかかもしれません。

また、子育て中は、ママ友や子育て系の地域活動団体とのつながりがあると思いますが、子育てが終わって御自身も仕事をしているような状況ですと、地域とのつながりが薄れていってしまうと思いますが、その辺りの実情や不安等がありますか。古藤さん、いかがでしょうか。

(古藤氏)

おっしゃるとおり、子どもが保育園や小学校低学年の時は、一人で行動できないので、親も一緒に集まる場がありましたし、町会の子ども会に携わるなど、忙しいながらも地域の方々とつながる機会があって、楽しく交流していました。中学生になったくらいの時期から、親の手を借りなくてもいろいろできるようになって、一緒に行動することが減り、地域とのつながりも減ってしまった、という実情があります。

(和氏)

昔は子どもを介して地域とつながるきっかけとなっていました、子ども会自体減ってきていて、無くなってしまった町会もあります。少年野球にしても、昔は町会単位でチームがありましたが、今は無くなりつつあります。時代が変わっていく中で、町会としても変わっていく必要があると思いますし、プラスアルファでサードプレイスとなり得る地域の活動をどう増やしていくかが非常に大事だと思います。

古藤さんはそのような中で地域活動を始められたわけですが、具体的な活動内容や、つながりができた現在はどのような状況かをお話いただけますか。

(古藤氏)

もともと地域で何か活動したいという思いがあったところ、2年前、本日と同様のイベントに参加して和先生の講演を聞いて触発され、その後の地域活動団体のブースに出展していた社会福祉協議会にボランティアとして参加しました。ちょうど親が車いすに乗るようになった時期だったので、車いすの方とお出かけするボランティアを行うようになりました。その縁で、現在では、障害の啓発活動を行う「多摩ふれあいまつり」の実行委員を務めています。また、親の介護をしていた時、助けてもらえるような地域活動を知らなかったことで苦労した経験から、市内の市民活動を紹介する市民記者の活動も行っています。

(和氏)

かなり色々な活動に参加なさっていて、ずいぶん地域でのつながりが増えてきたのではないかと思います。

角谷さんにお聞きしたいのですが、カラフルカフェに参加するようになって、地域でのつながりが増えた、と実感することはありますか。

(角谷氏)

かなりの人数と「はじめまして」のあいさつをしまして、知り合いは増えたと思いますが、カラフルカフェが終わった後に、また何か別の時間を一緒に共有するところまでは至っていないように思います。ただ、それでもいいのかな、とも思います。どこかでまたお会いした時に、「先日はありがとうございました」とあいさつできるだけでも、ずいぶん知り合いが増えた感があります。これからもそういった知り合いが増えていくでしょうし、知り合いの知り合いの方とつながることもあると思いますので、楽しいな、と思っています。

(和氏)

地域であいさつできる人が増えると安心感やうれしさがあると思いますが、そういったことは感じられますか。

(角谷氏)

カラフルカフェではないのですが、商店街の会長とやりとりする機会があり、後日、たまたま別件で生田緑地のお祭りに行った時に、その方が向こうから歩いてこられたのです。その時、先方から「あっ、こんにちは」と言ってくださったのですが、それが本当にうれしかったです。

(和氏)

うれしいですね。あいさつできる人が増えると、この地域に住んでいるな、という安心感があると思います。

(角谷氏)

今後も、あいさつはし続けていきたいと思っています。

(和氏)

私も地元で歩いていて「和さん」と声をかけていただけることがあるとすごくうれしいです。今日、このイベントを通して皆様ともお会いできましたので、どこかでお会いした時にはぜひ声をかけてください。

橋本さんは、カラフルカフェを通じて知り合いが増え、人のつながりができたことで変化はありましたか。

(橋本氏)

つながりが増えていく中で心境の変化がありました。私は、もともと人見知りなところがあつたのですが、カラフルカフェの関係であいさつし続ける、コミュニケーションし続けることで、慣れてきたのですね。人と付き合うのが、だんだん心地よくなってくる、相手の顔色が明るくなると、自分もうれしくなる、という変化がありました。そんな中で、自分自身、コミュニケーションに関する資格を取得してみよう、とか、新たな場に行ってみよう、とか、多摩区での活動以外でも広がりがありました。

(和氏)

私も、もともとはすごく人見知りなのですが、25年間全国を回って地域福祉の実践や研究などを行っている地域の方々とコミュニケーションをとらざるを得ないので、このように慣れてきました。

安藤さん、これまでの話をまとめると、まずは、あいさつできる人が増えることで、不安感が安心感に変わってくるのではないかと思います。定年退職後の地域デビューについて思うところはございますか。

(安藤氏)

これをやりたい、というものは今のところないのですが、何かしらきっかけを作って、自分のできることから始めてみたい、と思いました。

(和氏)

本日、皆様のお話を伺って、あいさつができる程度の非常にゆるやかなつながりがあるだけで、安心感があるのだと思います。そのためにも、色々な活動に参加して、顔見知りを増やす、ということが重要かと思います。この後の第2部では、様々な地域活動団体の活動を知る機会がございますし、後日、興味がある活動を見学することもできます。実際の活動の様子が分かりますし、活動している人たちの顔が見えるので、安心につながり、一歩踏み出しやすくなるのでは、と思っております。

ぜひ、これからも、多摩区で皆様とあいさつできるような関係を築いていければ、と思っております。

以上で、パネルディスカッションを終了させていただきます。短い時間でしたが、ありがとうございました。

【第1部の様子】



佐藤区長 開会あいさつ



第1部 会場の様子



和教授 講演



橋本氏 事例紹介



パネルディスカッションの様子



角谷氏



安藤氏



古藤氏



橋本氏（写真左）



和教授

3 第2部：地域活動団体の話を聞いてみよう！

第2部では、第1部の講演、事例紹介、パネルディスカッションを聞いて、参加者の地域活動への興味・関心が高まったところで、実際に地域活動団体の出展ブースを回り、団体の活動について直接話を聞ける場を設けた。興味のある団体が見つかった方向けに、後日、区職員同行のもと、地域活動団体の活動を見学できる「ちょこっと活動見学」への申込みも行った。

(1) 出展団体一覧

No.	団体名（ジャンル）
1	多摩区観光協会ガイド部会（観光ガイド）
2	多摩エコスタイルプロジェクト（エコなまちづくり）
3	多摩区ウォーキング推進委員会（ウォーキング活動）
4	多摩区認知症カフェ・地域カフェ交流連絡会（カフェ・居場所の相談・連携）
5	（一社）多摩区ソーシャルデザインセンター（こども食堂、中間支援）
6	認定 NPO 法人かわさき創造プロジェクト（スマホ教室、寺子屋事業）
7	多摩区こどもの外遊び交流委員会（こどもの外遊び）
8	マチノパズル（居場所、多世代交流）
9	多摩区自主防災組織連絡協議会（防災活動）
10	多摩区町会連合会（町内会活動）
11	まほろばの会（緑地保全）
12	多摩区内の公園緑地愛護団体（公園の愛護活動）
13	多摩区民生委員児童委員協議会（見守り・相談）
14	多摩サポーターズ（ボランティア）
15	川崎市多摩区社会福祉協議会（ボランティア相談）

※各団体の詳細、当日の配置図については、資料 4、5 を参照。

(2) 「ちょこっと活動見学」参加申込み状況（※1月25日時点）

申込みのあった団体：11 団体

申込み人数：18 名

申込み件数：26 件

【第2部の様子】



①多摩区観光協会ガイド部会



②多摩エコスタイルプロジェクト



③多摩区ウォーキング推進委員会



④多摩区認知症カフェ・地域カフェ交流連絡会



⑤(一社)多摩区ソーシャルデザインセンター



⑥認定 NPO 法人かわさき創造プロジェクト



⑦多摩区こどもの外遊び交流委員会



⑧マチノパズル



⑨多摩区自主防災組織連絡協議会



⑩多摩区町会連合会



⑪まほろばの会



⑫多摩区内の公園緑地愛護団体



⑬多摩区民生委員児童委員協議会



⑭多摩サポーターズ



⑮川崎市多摩区社会福祉協議会(ボランティア事業)



アタマの健康チャレンジ! の様子



ちょこっと活動見学 申込み受付

4 区民の意見聴取

イベント終了後、一般参加者と出展団体の参加者にアンケートを実施し、地域のつながりについての意識、現状等についての意見や、第1部の講演、事例紹介、パネルディスカッションを聞いた感想及び質問を記述していただく形式で、区民意見の聴取を行った他、質問に対しては、登壇者から回答を行う形で質疑応答を行った。

その他、第1部終了後、参加者が和教授に直接質問できるようにする等、様々な形で区民意見を聴取する機会を設けた。

集計結果及び主な意見は次のとおり。

なお、自由記述のうち、個人や団体を特定される可能性があるもの、補足が必要なものについては、公表に際して適宜修正・補記した。

(アンケート回収数)

一般参加者：40人

出展団体の参加者：14人

※次の回答については、無効回答として扱った。

- ・単一回答の設問で複数回答しているもの
- ・問4で「とても感じる」「感じる」以外を選択したにもかかわらず、問5に回答しているもの（問5のみ無効回答）

●一般参加者向けアンケート●

(1) 本日のイベントについては何で知りましたか

	回答数	%
市政だより	17	42.5
チラシ	6	15.0
人から聞いた	5	12.5
タウンニュース	3	7.5
市ホームページ	1	2.5
SNS (Facebook、X など)	0	0.0
かわさき SDGs パートナー向けメール配信	0	0.0
自身が参加している地域団体への依頼	0	0.0
その他	5	12.5
無回答・無効回答	3	7.5
合計	40	100.0

(その他の意見)

- ・夫
- ・ここの役所にきて
- ・メールをいただいた区役所の方から
- ・関係団体から
- ・麻生区役所

(2) なぜ本日のイベントに参加しようと思いましたか(複数回答可)

	回答数	%
地域活動団体の活動について知りたかったから	23	39.0
今まさに、地域でのつながりが無いことに課題を感じていたから	16	27.1
(退職後など)将来的に、地域でのつながりが無いことに課題を感じたから	12	20.3
地域活動団体に加入してみようと思ったから	5	8.5
知人・友人に誘われたから	2	3.4
その他	1	1.7
無回答・無効回答	0	0.0
合計	59	100.0

(その他の意見)

- ・和先生のお話を聞いたかったので

(3) 本日のイベントに参加して良かったと感じる点はなんですか?(複数回答可)

	回答数	%
地域でつながりをつくることの重要性が分かった	23	33.8
地域活動団体の活動について知ることができた	19	27.9
地域活動に興味を持つきっかけになった	13	19.1
地域活動団体や地域で活動する人とのつながりを深めることができた	5	7.4
地域活動に参加してみたいと思った	5	7.4
特に良かった点はなかった	0	0.0
その他	1	1.5
無回答・無効回答	2	2.9
合計	68	100.0

(その他の意見)

- ・会員さんの熱意に感動した。

(4) あなたは、普段、地域でのつながりが希薄だと感じますか

	回答数	%
とても感じる	7	17.5
感じる	21	52.5
どちらともいえない	7	17.5
感じない	5	12.5
全く感じない	0	0.0
無回答・無効回答	0	0.0
合計	40	100.0

(5) (4) で「とても感じる」「感じる」と回答した方にお聞きします。

地域でのつながりづくりができていない理由はなんですか（複数回答可）

	回答数	%
仕事等で時間が無い	16	35.6
人付き合いが苦手	9	20.0
地域活動に一度参加すると、辞めづらいイメージがある	9	20.0
地域活動団体は、人間関係が面倒なイメージがある	6	13.3
そもそもつながりの必要性を感じていない	1	2.2
その他	3	6.7
無回答・無効回答	1	2.2
合計	45	100.0

(その他の意見)

- ・ 個人情報が厳しいので、表札がない家が多い。亡くなった人の情報もない。
- ・ フェイス to フェイスのつながりを感じていないと思う。
- ・ 集合住宅（アパート）が増え、知り合いが少なく、地域が寒い。

(6) 本日の講演や事例紹介、パネルディスカッションを聞いた感想や、和教授や登壇者に聞いてみたいことがありましたら、ご自由にお書きください。

(感想等)

- ・ 人はだれかに支えられて生きているとあらためて感じた。
- ・ 自分と同じ事をみなさんが思っていると感じました。
- ・ 既に地域でボランティア活動を 20 年間経験している。今後の活動の参考になった。
- ・ 和先生には、いつもありがとうございます。数値にもとづいた分析を、お時間があればもう一步深く聞ければと思いました。また、単身者の方の視点も聞きたかったです。
- ・ いろいろな人がボランティアに参加しているのだと再認識した。
- ・ 講演のテーマに共感しました。
- ・ あいさつしてくれる人がいる事が、その場所に住んでいるということを実感する、という言葉が心に残りました。

(質問等)

Q.身体障害者と SDC（ソーシャルデザインセンター）との関わりは何かあるか？

【回答】

●多摩 SDC

多摩区ソーシャルデザインセンター（多摩 SDC）は地域の誰もが参加できるインクルーシブ（個々の違いを互いに認め、共生する）な場所でありたいと考えています。多様な身体特性を持つ方々が利用しやすい環境整備や、必要に応じた支援の提供について重要であると考えており、そのような活動を支援したいとも考えています。

現在、多摩 SDC では、「パサージュ・たま（※）」の作品の常設展示・販売をしているほか、認知症サポーターを広げる活動を行っているメンバーがいらっしやいます。また、2025 年 2 月 8 日に開催したカラフルカフェでは、視覚障害者ガイドヘルパーについて学び、体験を行いました。今後も地域における多様性を尊重し、インクルーシブな活動を支援していきたいと考えています。

(※) 多摩区内の障害者団体や生活・就労支援を行っている障害者施設、地域活動支援センター等の活動紹介や作品展示、また、障害に関する相談先の紹介も行う、障害の啓発事業です。

<https://www.city.kawasaki.jp/tama/page/0000045102.html#index-1-9>

Q.どうしたら、町会や各団体の活動に参加しようと思うかを教えていただきたい。

【回答】

●和教授

「ここに住んでいて良かったな」、「ここに住み続けたいな」と思えるのは、ご自身が生活している地域において顔を知っている方や挨拶できる方が増えることでの安心感やこの地域で生活している感覚を持つことができることだと思います。

最も身近な地域活動である町内会・自治会の活動に参加すると自然と顔見知りや挨拶できる方が増えてくるので、「まずは参加してみようかな」となるように思います。

また、いつ災害が起きてもおかしくない状況でありますので、日頃から町内会・自治会の活動に参加して顔見知りや挨拶ができる方が増えることによって、お互いに気にし合ったり、助け合う関係が生まれてくることも、参加する動機として重要だと思います。

●安藤さん

生まれた地域では、町内会や子ども会、お祭り等に参加していたので、参加するのが当たり前という環境で育ってきたから参加すること自体に抵抗はありませんが、子供が独立して将来独りになった時を想像すると不安を感じてしまい、地域との繋がりがあれば少しは安心した生活が送れるのではないかと思います。

●古藤さん

まずは、知ってもらうことだと、私は思います。わからないことに対して、誰しも抵抗感があると思います。私は市内の活動を伝えるボランティアもしていますが、いつ、どのような活動をしているのか、どのような人が活動に参加しているのかがわかると、興味を持ってもらいやすいと思います。体験会みたいなものがあるといいかもしれませんね。

町会であれば、掲示板に案内があると思いますが、昨年度の写真などがあるとイメージがわきやすいと思います。多摩区でなく中原区の事例ですが、町会で参加者が増えたという記事があるので、ご参考まで。

<木月伊勢町町内会 町内会のサポーター（かわさき市民活動センターHP）>

<https://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/11569/>

●橋本さん・角谷さん（多摩SDC）

はじめに、私見となりますことをご了承ください。

まず、活動の見える化を進めてみられてはいかがでしょうか。SNSや回覧板、地域の掲示板などで、活動の様子や参加者の声を定期的に発信することで、活動の魅力が伝わりやすくなります。特に、写真付きで具体的なエピソードを紹介することで、より身近に感じていただけるのではないのでしょうか。

次に、参加のハードルを下げる工夫として、体験参加や見学会の実施、短時間で参加できるプログラムの用意なども考えられます。また、子育て世代であれば子連れOKにする、働く世代であれば休日開催にするなど、対象に合わせた開催方法の工夫も有効か

と思います。

新しい方が来られた際は、複数の既存メンバーで温かく迎え入れ、活動後の交流時間を設けるなど、関係づくりにも配慮があると良いと思います。さらに、若い世代や新しい方が関心を持ちそうな新しい企画を取り入れるなど、活動内容自体の見直しも検討されてみてはいかがでしょうか。

Q.どのように地域コミュニティに参加していくか、心構えがあれば教えてください。つながりの重要性や必要性は感じていますが、いざブース見学や実際にお話となると、緊張してしまい、うまく入っていきません。

【回答】

●和教授

最初のご自身が気軽に楽しく参加できそうな雰囲気や内容の活動から参加なさるとよろしいかと思います。例えば、公園で散歩をしたり、ラジオ体操や健康体操などに定期的に参加することによって、挨拶ができたり、顔見知りが少しずつ増えてくると、地域に対する心のハードルが少しずつ低くなってくると思います。そして、少しずつ地域に慣れてきてから、ご自身が興味ある地域活動に参加するとよろしいかもしれません。

●安藤さん

イベントやお手伝いで、いろいろな所に参加してその中から自分に出来るもの、向いているものを見つけて参加していくのがいいと思います。

※地域活動のイベントや手伝い募集の一覧が、一か所で確認出来て参加できるサイトとかがあると便利ですね。

●古藤さん

心構えは、特にないと、私は思います。強いて言えば、嫌な時は行かない、無理しない事だと思います。各コミュニティで、色々雰囲気が違うので、色々試して、ご自身が楽しいところや居心地がいいところを探してみるといいと思います。私も色々なところのイベントに参加して、様子をうかがったりしています。

まずは、自分の家から遠いところのコミュニティから、試してみてはいかがでしょうか？足が遠のいても、気まずい想いをすることは少ないと思います。

●橋本さん・角谷さん（多摩SDC）

緊張してしまうとのことですが、それはごく自然な感情だと思います。まずは小さな交流から始めることをお勧めします。緊張していることを素直に伝えてみても良いと思います。

また、緊張されるということは、ご自身のコミュニケーションの理想が高く、完璧を求めているのかもしれませんが、コミュニケーションに完璧や正解はありませんので、1%の前進を目指してみてもいいでしょうか。1日1%の前進を365日続けると、1年後には1.01の365乗で37.8倍になります。ビックリですね。完璧じゃなくても良いので、少しずつ前進してみることで、大きな変化が起きると思います。このようなご質問をされるということは、つながりの重要性を感じていらっしゃるのだと思いますので、その思いを大切にして、小さな一歩、1%の前進を踏み出してみてください。応援しています。

多摩 SDC で毎月開催しているカラフルカフェでは、参加者がいてくれるだけで大きな価値があります。特別なことをしなくても、ありのままでいること自体が重要な貢献だと考えています。そういったところへの参加から始めてみるのも良いかもしれません。多摩 SDC では毎月の全体会もありますので、見学にいらしてもいいかもしれません。ご関心があれば、ぜひお問い合わせください。

(7) あなたは「ちょこっと活動見学！」に申し込みましたか

	回答数	%
申し込んだ	12	30.0
申し込まなかった	21	52.5
無回答・無効回答	7	17.5
合計	40	100.0

(8) (7) で「申し込まなかった」と回答した方にお聞きします。

申し込まなかった理由はなんですか（複数回答可）

	回答数	%
予定が合わなかった	14	46.7
活動見学に参加すると、辞めづらいと思った	3	10.0
第1部が目的だった	2	6.7
興味のある活動見学がなかった	1	3.3
活動場所まで行くこと、または帰ることが難しかった	1	3.3
その他	2	6.7
無回答・無効回答	7	23.3
合計	30	100.0

(その他の意見)

- ・活動内容を知ることが目的だった
- ・人気があって…お婆さんの圧がすごかった

(9) 興味のある地域活動団体のジャンルはなんですか（複数回答可）

	回答数	%
料理・食生活	12	14.8
まちづくり	11	13.6
アート・芸術	9	11.1
子育て	7	8.6
園芸	7	8.6
国際交流	5	6.2
人権・男女共同参画	5	6.2
ペット	4	4.9
文学・語学	4	4.9
写真・映像	3	3.7
その他	7	8.6
無回答・無効回答	7	8.6
合計	81	100.0

(その他の意見)

- ・ 障害者の参加できるイベント
- ・ 障害
- ・ 共通の趣味
- ・ 防災活動
- ・ 多世代交流
- ・ 野外活動、小中高支援
- ・ 看護師・保育士のため（の活動）

【年齢】

	回答数	%
10 代以下	0	0.0
20 代	0	0.0
30 代	3	7.5
40 代	3	7.5
50 代	8	20.0
60 代	10	25.0
70 代以上	12	30.0
無回答・無効回答	4	10.0
合計	40	100.0

【職業】

	回答数	%
会社員（経営者含む）	14	35.0
無職（収入が年金のみの方を含む）	11	27.5
パート・アルバイト	3	7.5
主婦・主夫（家事専業）	3	7.5
自営業	1	2.5
学生	1	2.5
無回答・無効回答	7	17.5
合計	40	100.0

●出展団体の参加者向けアンケート●

(1) 本日の講演や事例紹介、パネルディスカッションを聞いた感想や、和教授や登壇者に聞いてみたいことがありましたら、ご自由にお書きください。

(感想等)

- ・講演、事例紹介、パネルディスカッションとも興味深かった。現在は、かわさき創造プロジェクトでの活動や、居住しているマンションの管理組合活動などで多忙となっているが、余裕ができたなら多摩 SDC の活動ものぞいてみたいと感じた。
- ・パネルディスカッションで実際に活動している人の生の声が聞けたので良かったです。
- ・地域の団体に入った生の声を聞いてよかったです。
- ・自分自身も地域でのつながりは現状あまりありません。今は仕事、子育てと忙しく過しており、なかなか地域に目を向けることは難しいですが、退職後や子育てが終わった際に本日の内容を思い出し、行動していくためのヒントにしたいと思いました。
- ・定年退職後の現状の実情があり興味深かったです。男性のケースのみでなく、女性も今定年まで働く方も多いので、女性バージョンの統計も欲しかったです。
- ・和先生のお話が第 2 部の活動につながる話で良かったです。
- ・和先生の講演とパネルディスカッションは興味あるお話で良かったです。
- ・パネルディスカッションで参加者のきっかけを聞いて良かったです。参加者に女性 1 名はさみしい！！でした。
- ・地域と繋がりたいのであればまずは町会から…と言うのをプッシュしていただけると良いのではと感じました。

【年齢】

	回答数	%
10 代以下	0	0.0
20 代	0	0.0
30 代	2	14.3
40 代	1	7.1
50 代	1	7.1
60 代	3	21.4
70 代以上	7	50.0
無回答・無効回答	0	0.0
合計	14	100.0

【職業】

	回答数	%
無職（収入が年金のみの方を含む）	5	35.7
会社員（経営者含む）	4	28.6
自営業	2	14.3
パート・アルバイト	2	14.3
主婦・主夫（家事専業）	1	7.1
学生	0	0.0
無回答・無効回答	0	0.0
合計	14	100.0

5 資料編

(1) 当日配布資料

【資料1】基調講演スライド

令和6年度
地ケアフォーラム×地域デザイン会議
基調講演

地域・人とつなが
るってなんだろう？

田園調布学園大学
和（かのう）秀俊

資料1

プロフィール

- 東京都大田区生まれ、足立区育ち、川崎市多摩区在住（生田緑地そば）、沖永良部島がルーツ
- 妻、娘（高2）、息子（小5）との4人家族
- 岡本太郎の大ファン（縄文に目覚める?!）
- 立教大学法学部卒業後、スポーツインストラクター、NPO職員、専門学校教員をしながら、東洋大学で博士（社会福祉学）取得、立教大学コミュニティ福祉学部助教を経て、田園調布学園大学教授、福祉デザインLab代表
- 専門は、地域福祉、福祉デザイン

地域福祉デザイン

新しい地域福祉
の開発

持続可能で魅力的
な地域づくり

本日の目的

地域・人の「つながり」
の必要なワケを知る

理想的な「つながり」を探る

定年退職者の地域デビュー
の必要性を実感する

地域・人の
「つながり」の必要性

地域福祉の方法の1つ

地域包括ケアシステム

誰もが住み慣れた
地域で安心して住
み続けることがで
きる仕組み

地域福祉の目的

地域共生社会の
実現

持続可能で魅力的
な地域づくり

麻生区の平均寿命が全国トップ

男女ともに平均寿命が全国でトップ
（男性84.0、女性89.2）
『令和2年市区町村別生命表』（厚生労働省2023）

要因は何だろうか？

川崎市高齢者実態調査から学ぶ

9

麻生区の高齢者の実態②

表2 高齢者の実態

区別	高齢者の人口 (単位:人)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)
川崎市	43,7	23.8	26.7	15.3	3.9	63.8	33.6
麻生区	43.7	23.7	26.7	15.0	2.2	67.0	28.7
中原区	51.7	23.8	17.3	18.5	3.8	71.3	25.8
中原区	55.0	24.6	19.1	14.5	3.1	76.4	26.2
中原区	45.6	25.9	18.1	15.0	3.7	72.6	24.0
中原区	55.3	24.9	22.2	15.7	2.2	72.3	24.0
麻生区	54.0	25.4	22.1	15.7	2.3	76.2	27.7

表3 高齢者の実態

区別	高齢者の人口 (単位:人)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)
川崎市	43,7	23.8	26.7	15.3	3.9	63.8	33.6
麻生区	43.7	23.7	26.7	15.0	2.2	67.0	28.7
中原区	51.7	23.8	17.3	18.5	3.8	71.3	25.8
中原区	55.0	24.6	19.1	14.5	3.1	76.4	26.2
中原区	45.6	25.9	18.1	15.0	3.7	72.6	24.0
中原区	55.3	24.9	22.2	15.7	2.2	72.3	24.0
麻生区	54.0	25.4	22.1	15.7	2.3	76.2	27.7

11

麻生区の高齢者の実態①

『令和元年度川崎市高齢者実態調査報告書』(川崎市内65歳以上を対象)

表1 家庭状況・住居・健康状態・生活

区別	高齢者の人口 (単位:人)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)
川崎市	43,7	23.8	26.7	15.3	3.9	63.8	33.6
麻生区	43.7	23.7	26.7	15.0	2.2	67.0	28.7
中原区	51.7	23.8	17.3	18.5	3.8	71.3	25.8
中原区	55.0	24.6	19.1	14.5	3.1	76.4	26.2
中原区	45.6	25.9	18.1	15.0	3.7	72.6	24.0
中原区	55.3	24.9	22.2	15.7	2.2	72.3	24.0
麻生区	54.0	25.4	22.1	15.7	2.3	76.2	27.7

10

麻生区の高齢者の実態③

表2 高齢者の実態

区別	高齢者の人口 (単位:人)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)
川崎市	43,7	23.8	26.7	15.3	3.9	63.8	33.6
麻生区	43.7	23.7	26.7	15.0	2.2	67.0	28.7
中原区	51.7	23.8	17.3	18.5	3.8	71.3	25.8
中原区	55.0	24.6	19.1	14.5	3.1	76.4	26.2
中原区	45.6	25.9	18.1	15.0	3.7	72.6	24.0
中原区	55.3	24.9	22.2	15.7	2.2	72.3	24.0
麻生区	54.0	25.4	22.1	15.7	2.3	76.2	27.7

12

麻生区の高齢者の実態④

表3 高齢者の実態

区別	高齢者の人口 (単位:人)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)	高齢者の人口 占める割合 (%)
川崎市	43,7	23.8	26.7	15.3	3.9	63.8	33.6
麻生区	43.7	23.7	26.7	15.0	2.2	67.0	28.7
中原区	51.7	23.8	17.3	18.5	3.8	71.3	25.8
中原区	55.0	24.6	19.1	14.5	3.1	76.4	26.2
中原区	45.6	25.9	18.1	15.0	3.7	72.6	24.0
中原区	55.3	24.9	22.2	15.7	2.2	72.3	24.0
麻生区	54.0	25.4	22.1	15.7	2.3	76.2	27.7

13

インタビュー調査から検討する

15

平均寿命の長さの要因の傾向

麻生区の高齢者は暮らし向きが良く、慣れた地域で最後まで充実した生活を送るための意欲や学び、**地域における豊富な交流**によって心身ともに健康であることが平均寿命の長さに影響?!

14

インタビューの方法・内容

- 対象** 麻生区在住の64歳以上の男性高齢者30名(「積極的活動参加層」22名、「中間層」4名、「閉じこもり層」4名)
- 期間** 2021年6月から2022年5月まで
- 内容** インタビューガイド「生まれてから今現在まで、ご自身のこれまでの人生を振り返り、思う存分語って下さい」
- 方法** トライアングレーションによる質的分析

16

インタビューの分析結果①

- ①【豊富な知識】
- ②【旺盛な好奇心・探究心】
- ③【無理をしない生き方】
- ④【多様性の受容】
- ⑤【豊かな交流】
- ⑥【運命的な出会い】

17

インタビューの分析結果②

- ⑦【人生に影響を与える体験】
- ⑧【良好な夫婦関係】
- ⑨【充実した人生を送り続けたい気持ち】
- ⑩【次世代への思い】
- ⑪【お互い様の精神】
- ⑫【将来への不安】

18

84歳以上の長寿の要因

【良好な夫婦関係】を長年保ちながら、
【旺盛な好奇心・探究心】を持って自身の
興味あることを徹底的に追求しつつ、
流れに身を任せ老いと向き合いマイペー
スに【無理をしない生き方】をしている

長寿に重要なのは、特に【良好な夫婦関係】，【旺盛な好奇心・探究心】，【無理をしない生き方】かも？！

21

理想的な「つながり」 とは？

22

考察

暮らし向きが良く、夫婦二人で【**良好な夫婦関係**】を保ちながら、住み慣れた地域で最後まで【**充実した人生を送り続けたい気持ち**】から【**旺盛な好奇心・探究心**】によって意欲的に学ぶことで【**豊富な知識**】を身に付け、【**多様性の受容**】による地域における【**豊かな交流**】や【**無理をしない生き方**】によって心身ともに健康に日々過ごしている。

19

調査からみた長寿の要因

- ① 暮らし向きの良さ
- ② 【旺盛な好奇心・探究心】
- ③ 【充実した人生を送り続けたい気持ち】
- ④ 【豊かな交流】
- ⑤ 【多様性の受容】
- ⑥ 【良好な夫婦関係】
- ⑦ 【無理をしない生き方】

20

「つながり」のタイプ

ソーシャルキャピタル（社会関係資本）

byバットナム



23

緩やかな「つながり」の必要性



24

求められる「つながり」とは

知縁

関心縁

25

理想的な「つながり」とは

多様で緩やかな
「つながり」

26

by和

定年退職者の地域デ ビューの必要性

27

定年退職者の現状

2025年が間近に迫り、団塊世代をはじめ男性の企業退職者(以下、男性退職者)が急増

特に、現役時代は会社人間として高度経済成長を支えた男性退職者は、家と会社の往復ばかりで家や地域のことは妻に任せたま

退職後は自分の居場所すらない人が多く、特に大都市圏郊外の新興住宅地において顕著

28

定年退職者の現状と課題

その結果…

家に閉じこもり気味になり、心身の健康を害してしまう人も増加

自殺につながる可能性…

29

定年退職者の深刻な課題

夫と退職後の家庭生活を送ることによって、主人(夫)在宅ストレス症候群やうつ病になってしまう配偶者も

男性退職者だけの問題ではなく、配偶者である妻にとっても大きな問題

31

定年退職者の深刻な課題

高齢期は、抑うつ状態の有病率が増加し、自殺に繋がりやすい…

様々な喪失体験が原因

身体機能の低下
社会的役割の喪失
配偶者や友人との死別
など

30

定年退職者の深刻な課題

<令和5年自殺の状況>

*21,837名(自殺率17.6%)

→男性14,862名(68.1%)

女性6,975名(31.9%)

→約4割(36.9%)が60歳以上、無職者が約5割(52.5%)

出典：警察庁「令和5年中における自殺の状況」

32

定年退職者の深刻な課題

令和5年は、50代が最も多く（4,194名）、最も増加（101名）

60歳以上は、70歳以上は減少したが60代は増加し、全体の約4割を占める

男性退職者の自殺予防が重要な課題！

33

孤立を促すライフスタイルの改善

老年期の喪失体験（退職、配偶者の死、身体機能喪失など）は誰もが経験

孤立を促すライフスタイルの改善が必要！

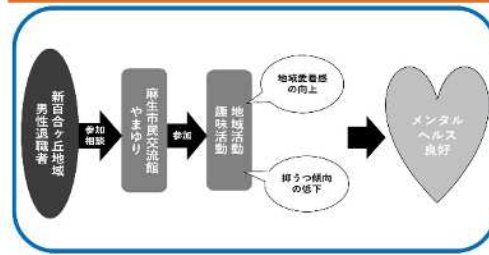
地域活動・団体への参加 役割の獲得 良好な夫婦関係

地域で役割を獲得することで社会的孤立や孤独感が軽減？！

by和

34

地域活動の有効性



出所：和秀俊『持続する郊外—住民主導のアーバンニズム』2023

35

地域デビューの必要性

男性退職者の地域デビューが必要！

地域デビューするための「きっかけ」と「仕組み」が必要！

36

参考文献

- 厚生労働省『令和2年市区町村別生命表の概況』2023.
- 厚生労働省『令和3年中における自殺の状況』2022.
- 川崎市健康福祉局『令和元年度川崎市高齢者実態調査報告書』2020.
- 和秀俊「つながりと自殺予防—スポーツを通じた身近な地域のサードプレイスの可能性」, 加藤悦雄・西村昌記『〈つながり〉の社会福祉』生活書院, 134-159, 2020.
- 和秀俊『男性退職者のメンタルヘルス』『持続する郊外—住民主導のアーバンニズム』青弓社, 2023.
- 和秀俊「川崎市麻生区の高齢者が長生きする要因とは—男性高齢者のインタビューから探る」田園都市学園大学紀要（18）, 53-65, 2024.
- Putnam, Robert D., Robert Leonardi, Raffaella Nanetti, Making Democracy Work: Civic Traditions in Modern Italy. Princeton University Press, 1992.
- 岡田『生き心地の良い町—この自殺率の低さには理由がある』講談社, 2013

37

ご清聴ありがとうございました

38



地域デザイン会議×地ケアフォーラム

令和5年度の車座集会で生まれた活動について

2025年1月25日(土)
多摩区ソーシャルデザインセンター
橋本 宜明

1

1

第65回車座集会(多摩区) R6年2月18日(日)



46名、8グループで「地域でのつながりのつくりかた」についてディスカッション
Eグループ:多世代がつながるゆるやかな「場」として、「スナック洋子」を提案



2

2

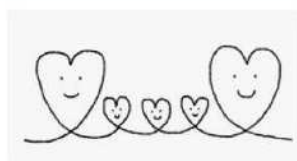


3

カラフル・カフェ とは



「ゆるくツナガル・一緒にワカチアウ・気軽にマナブ」を
コンセプトに多世代が気軽に集う ひろば です



ゆるくツナガル



一緒にワカチアウ



気軽にマナブ

+



カンパイ



4

4

今年度の振り返り



Vol.01 (4/13) 『カラフル・カフェの今後や、地域社会への踏み出し方について』	@アトリウム
Vol.02 (5/11) 『カラフル・カフェへの意見や、多世代交流について』	@アトリウム
Vol.03 (6/8) 『哲学対話』	@白いハコ
Vol.04 (7/13) 『コミュニティ施策の基本的考え方』『ウェルビーイング』	@生田出張所
Vol.05 (8/17) 『子ども食堂とコミュニティ』『共に食べる』	@SDC事務
Vol.06 (9/21) 『認知症について』	@アトリウム
Vol.07 (10/12) 『参加型デザインで考える未来の公園のカタチ』	@SDC事務
Vol.08 (11/9) 『人生曲線 ～それぞれの物語を描く～』	@SDC事務
Vol.09 (12/14) 『Win-Winの地域連携を実現しよう！』	@アトリウム
Vol.10 (1/11) 『ロシアとウクライナを食べ尽くす120分+α』	@生田出張所

第1回～9回まで、**延べ人数135人、実人数52人**にご参加いただきました。リピートでご参加頂ける方もでて来ました。参加者からの話題提供や活動紹介など、新しいテーマでの開催も始まりました。今後も、これまで参加したことのない方も参加したいと思うような、様々なテーマを企画していきたいと思ひます。

5

Photo-Vol.01~03



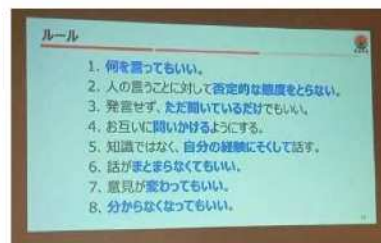
Vol.01



Vol.02



Vol.03



6

6

Photo-Vol.04~06



Vol.04



Vol.05



Vol.06



7

Photo-Vol.07~09



Vol.07



Vol.08



Vol.09



8

8

メッセージ



カラフルカフェは、**100人100色**の考えを受け入れ、共感し合う場所です。

年齢を問わず、ただそこにいることで、未来はもっと明るくなります。

あなたが**居るだけで**、すでに**大きな価値**があります。

カラフルカフェは、**集合知**を育む場所であり、**実践知**を深める場所であり、一人ひとりを大切にする場所です。

特別なことをしなくても、**ありのままで**、**居続けてくれること**自体が、最も重要な貢献です。

【資料3】パネルディスカッション 登壇者プロフィールシート

資料3

パネルディスカッション 登壇者プロフィールシート ※50音順

No.	地域で活動をはじめた、始めようと思ったきっかけ等
1	
氏名(ふりがな)	
あんどろ よしひろ 安藤 芳宏	
職業	
会社員	11年前、相模原から多摩区へ引っ越してきた。2年前までは、南生田で子供がサッカーをやっていた関係で、地域とのつながりがあったが、それが終了してからはつながりが無くなってしまった。 勤務先が中野島のため、仕事で地域との関係はあるが、異動すればそれも無くなってしまふ。定年後、孤立してしまうのでは、という不安があり、何かしなければ、という思いはあるが、どのように地域とつながればよいのかわからない。今回のパネルディスカッションをきっかけとして、地域とのつながりづくりができれば、と考えている。
年齢	
50代	
主な活動(生活)エリア	
中野島周辺	

No.	地域で活動をはじめた、始めようと思ったきっかけ等
2	
氏名(ふりがな)	
かどや きょういち 角谷 恭一	
職業	
会社員	30年ほど、登戸・中野島に在住。今年60歳となり、3月末で退職予定。 会社では、50歳頃から、定年退職後を見据えた研修等があったが、地域とのつながりづくり、という論点のものではなかった。 5年ほど前から、退職後の「第3の居場所」として地域活動をしたいと考えはじめ、インターネットで多摩区ソーシャルデザインセンターの存在を知り、2年前から参画した。
年齢	
60代	
主な活動(生活)エリア	
登戸、向ヶ丘遊園周辺	

No.	地域で活動をはじめた、始めようと思ったきっかけ等
3	
氏名(ふりがな)	
ことう めぐみ 古藤 仁	
職業	
会社員	普段は、都内で勤務。子どもが大きくなり、ママ友との関係が薄れたことで、子育て中の地域とのつながりが途切れてしまった。川崎が地元ではないので、ママ友以外の知り合いがいなかったため、孤立感を感じていた。また、親の介護が落ち着いたことで、時間に余裕ができた。 そんな折、2年ほど前に、和教授の「地域でのつながりの重要性」についての講演を聞いたことがきっかけで、地域活動への参画を開始。現在では、多摩ふれあいまつりの実行委員（障害啓発のイベント。毎年6月に市民館で開催）、車いすの外出支援、市民記者（川崎市内の市民活動を紹介する活動）等、様々な活動を行っている。
年齢	
40代	
主な活動(生活)エリア	
登戸周辺	

No.	地域で活動をはじめた、始めようと思ったきっかけ等
4	
氏名(ふりがな)	
はしもと よしあき 橋本 宜明	
職業	
会社員	熊本出身。2019年に中原区から多摩区に引っ越してきたため、地の利が無く、地域コミュニティへの入りづらさを感じていた。 多摩区ソーシャルデザインセンターには立上げの検討会から参加し、現在は副代表を務める。 勤務する会社が実施するセカンドキャリアに向けた研修の中で、ソフトランディングの重要性を強く認識。定年退職された会社の大先輩が、寂しそうに多摩川河川敷で佇んでいる様子を偶然目にしたことで、更にその思いを強くした。 そうしたこともあり、誰でも参加出来る、地域でゆるいつながりを作ることをコンセプトにした「カラフルカフェ」を企画・実施している。
年齢	
50代	
主な活動(生活)エリア	
中野島周辺	

【資料4】活動団体紹介シート

資料4

活動団体紹介シート

団体番号	ジャンル 団体名	ページ	団体番号	ジャンル 団体名	ページ
①	観光ガイド 多摩区観光協会ガイド部会	1~	⑨	防災はたけ 多摩区自主防災組織連絡協議会	9~
②	まちなまづくり 多摩エコスタイルプロジェクト	2~	⑩	初めのお役所 多摩区町会連合会	10~
③	ウォーキング活動 多摩区ウォーキング推進委員会	3~	⑪	趣味好き まほろばの会	11~
④	カフェ、民家の相談、茶室 多摩区認知症カフェ・地域カフェ交流連絡会	4~	⑫	公園の憩い 多摩区内の公園緑地愛護団体	12~
⑤	こども商店、中継本舗 (一社)多摩区ソーシャルデザインセンター	5~	⑬	見守り・相談 多摩区民生委員児童委員協議会	13~
⑥	スイスイ教室、電子音楽 認知症老人あそび会 認知プロジェクト	6~	⑭	ボランティア 多摩区ボランティア	14~
⑦	こども外遊び 多摩区こどもの外遊び交流委員会	7~	⑮	ボランティア 川崎市多摩区社会福祉協議会(ボランティア事業)	15~
⑧	認知症、多世代交流 マチノバスル	8~			

シートの見方

- 活動目的
なぜ活動しているのか
- 活動・事業内容
どんなことをしているのか
- 活動日時及び場所
- 参加者の様子にPR!
- 募集情報

PR

※団体ごとにレイアウトが少々異なります

① 観光ガイド
多摩区観光協会ガイド部会

ちよこっぴ
活動見学あり

3階
視聴覚室

活動目的

多摩区観光協会の一組織として、ガイドツアーを計画・実施することにより、市民の皆さんに、寺社や公園などの観光資源を紹介するとともに、ウォーキングツアーに参加することによる、ご自身の心身向上に寄与しています。

主な活動・事業内容

ガイドツアーは年間10回程度実施しています。内容は、その時期に合わせたツアーを中心にガイドメンバーが検討し、具体的な場所や時間帯を設定の上、広く参加者を募集します。

令和6年度のツアー(一部抜粋)
5月: 春のぼろろと生田郷地を巡るウォーキングツアー
10月: 丘陵を駆けめぐる(賀佐・井原の地を巡るウォーキングツアー)
1月: 新春七福神めぐり(向ヶ丘遊園駅一帯の丘陵地にある寺院を巡る)

活動日時及び場所

【活動日時(頻度)】
不定期(ガイドツアーの他に全体会を年2回、観光協会主催イベントの手伝い等)

【主な活動場所】
多摩区内全域

団体概要

設立(活動開始)年: 2014年
代表者: 理事長 榎木 道
会員(構成員)数: 21人

会員等の年齢層:
10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代

↑ 丘陵山のガイドの様子

↑ 向ヶ丘遊園のまちを説明

PR

ガイドツアーへの参加は初めての方も大歓迎です。ガイドをやりたいという方もお申し込みください。近隣者はもちろん初めての方も大歓迎です。花や野鳥の名前の分かる方も参加されて、知識や特技などを活かした方も歓迎。皆さんの参加をお待ちします。

募集情報

募集情報

- ☒ 会員(担い手)
- ☒ ボランティア
- ☒ 活動見学
- ☒ 利用者・参加者
- ☒ 寄付
- ☒ 協賛相手

条件・注意事項など
現在、観光ガイドを募集中です。ツアー見学の機会での実地研修を経て、実際のツアー案内に参加します。

問い合わせ

事務局: 多摩区役所地域振興課
044-935-3132
お電話にてお問い合わせください
<http://tamakurankai.com/>
(多摩区観光協会ホームページ)

1

② エコなまちづくり
多摩エコスタイルプロジェクト

ちよこっぴ
活動見学あり

3階
視聴覚室

活動目的

・多摩区にエコなライフスタイルを掛け、持続可能な社会を目指す。
・商店街と一緒に、住み続けたいまちづくり(商店街SDGs)を推進する。
・地域の方々とつながっているまちづくり

主な活動・事業内容

・商店街と連携したまちづくり活動「地域資源あるもの探しの会」「エコ商店街推進会議」「マイ音器シンポジウム」
・県民社会づくり活動「真夏の暑さしらせ」「ソーラーエネルギー体験」
・産業物産展「リユース食器活用」「マイ食器づくり講座」
・地域のつながりづくり「地域がつながるゴミ拾い」「エコカルピス(はたけ産物産の製品紹介と販売)」
・イベント参加「民家園遊り夏祭り」「おひさまフェス×星空上陸会」まちなか遊覧会「多摩区エコフェス」ほか
・その他の自主企画

活動日時及び場所

【活動日時(頻度)】
定例会議(月に1度)、イベント参加(不定期、適宜)、ゴミ拾い(不定期、年2~3回)ほか

【主な活動場所】
多摩区内

団体概要

設立(活動開始)年: 2012年
代表者: 三枝 信子
会員(構成員)数: 114人

会員等の年齢層:
10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代

↑ 地域資源あるもの探しの会の様子

PR

環境とSDGsをキーワードに、地域の方々と施設・商店街とつながりながら、住み続けたいまちを目指して活動しています。気になるテーマがありましたら、ぜひ、ご連絡ください!

募集情報

募集情報

- ☒ 会員(担い手)
- ☒ ボランティア
- ☒ 活動見学
- ☒ 利用者・参加者
- ☒ 寄付
- ☒ 協賛相手

条件・注意事項など
関心、意欲があっても、主旨に賛同いただける方であれば、どなたでも

問い合わせ

担当: 三枝 信子
044-911-6110(留守番電話)
tamacostyleproject@gmail.com
<https://tamacostyleproject.jp/>
<https://www.instagram.com/tamacostyleproject/>
<https://www.facebook.com/groups/tamacostyleproject>

2

③ ウォーキング活動
多摩区ウォーキング推進委員会

ちよこっぴ
活動見学あり

3階
視聴覚室

活動目的

平成19年、国の健康づくりのための運動推進政策と連動するがため多摩区役所で講座が開催され、それをきっかけに設立された。平成28年から多摩区後援のもとボランティア主導で実施する事となり現在に至る。

主な活動・事業内容

多摩区及び近郊の区・市を中心に約5km前後のウォーキングコースを設計し設定しています。その後、交差点ウォーキングのための下見(トイレの確保ほか)とコース地図の作成及び実施日当日の引率及び案内が主な活動となります。(参加者の参加費200円)

活動日時及び場所

【活動日時(頻度)】
(原則)毎月第1木曜日に実施(雨天時は延期に延期)但し8月はお休み
【主な活動場所】
多摩区を中心に近郊の区・市(葛生区・宮前区・船江市・世田谷区・府中市・板橋市)の名所旧跡及び四季を感じる場所

団体概要

設立(活動開始)年: 2007年
代表者: 山本 隆
会員(構成員)数: 14人

会員等の年齢層:
10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代

↑ 桜並木を歩くウォーキングの様子

PR

区民の皆様を対象にウォーキング活動をやっているグループです。健康づくりと介護予防、引きこもり予防などを目的に、歩くことの楽しさを知り、仲間づくりの機会にもなります。参加者との交流も楽しみのひとつです。

募集情報

募集情報

- ☒ 会員(担い手)
- ☒ ボランティア
- ☒ 活動見学
- ☒ 利用者・参加者
- ☒ 寄付
- ☒ 協賛相手

条件・注意事項など
とにかく歩くのが好きな方、自然歴史等が好きな方、待っています!

問い合わせ

担当: 山本 隆
090-2534-0476
yamamur@docomo.ne.jp

3

④ カフェ・居場所の相談・連携 多摩区認知症カフェ・地域カフェ交流連絡会

ちょこっと
活動見学あり

3階
体育室

活動目的

多摩区内の認知症カフェ・地域カフェの立ち上げや活動の発展について、情報交換をしたり、宣伝したりしています。
資金や場所、世代交代など課題はありますが、知恵を出し合い乗り越えていきたいと思います。「多摩区カフェまつり」は改訂版が出ますので、さらに人々の交流が盛んになればと思います。

主な活動・事業内容

年に2度ほど連絡会を開き、情報交換(開催内容・資金・場所やそれぞれの工夫について)や、他地域のカフェの話を聞いたりしています。その他、通年、今までの参加者やマップ掲載団体に対してカフェの開催情報などをメールで流しています。カフェを立ち上げるための相談、カフェマップを使った広報も行っています。

活動日時及び場所

【活動日時(頻度)】
不定期
【主な活動場所】
多摩区民館や生田出館所、オンライン

団体概要

設立(活動開始)年:2018年

代表者:河田 浩子

会員(構成員)数:25団体+α

会員等の年齢層:



↑ある地域カフェの運営の様子

PR

人々の居場所を作って、地域を盛り上げていきたいと思われている方。カフェ開きの交流にご関心がある方。また、お仲間になってくださるカフェ、グループの皆様大歓迎です。

募集情報

- ☒ 会員(担い手)
- ☒ ボランティア
- ☒ 活動見学
- ☒ 利用者・参加者
- ☒ 寄付
- ☒ 協賛相手

条件・注意事項など
カフェをやっている個人の方でも、地域にカフェ(人々の居場所)が必要と感じてくださる方でしらす。特に各カフェにお邪魔して取材をしてくださる方、HP作成ができる方など。

問い合わせ

担当:河田 浩子
090-6314-5332
tama.cafe.3@gmail.com

⑤ こども食堂、中間支援 (一社)多摩区ソーシャルデザインセンター

ちょこっと
活動見学あり

3階
体育室

活動目的

「みんなが認め合い方を合わせて、みんなが幸せなまちをつくる」多様な主主体と多世代が支え合い、多様な資源を活用し、社会主体の持続可能なまちづくり」の理念に、誰もが気軽に集える居場所作り、市民団体・法人・企業をつなぐ中間支援、創発の場作りを目的に事業を行っている。自らニーズを集め、旗を掲げながら互助の企画や資源作り、多くの人を巻き込み、地域への牽制や一歩に取り込むパートナーを築くような中間支援を行っている。

主な活動・事業内容

多摩区と連携協定を結び、「地域強固化システム」という小さな子どもから高齢者まで、地域のすべての人が、住み慣れた地域で人生の最後まで幸せに暮らすことをめざすという考え方をともに、助け合い(互助)ができるまちを目指して活動しています。そのために、主に
①地域活動に関する相談を受け付け、活動を進め、続けるための支援を行う(相談・活動支援)
②地域のニーズなどの情報を収集し、活動に取り入れ、活動の内容などの情報発信を行う(情報収集・発信)
③地域で人を育てる仕組みを作る(地域の担い手の創出・人材育成)
※「まちのひろば」と呼ばれる、地域の方が気軽に集まることができる地域の居場所をつくる。交流のきっかけを作る(ネットワーク構築・交流促進)などの事業を行っています。

PR

色々な活動に参加したい、自分で活動イベントを作りたい、活動の場所を探している、こんなみなさま、お待ちしております！

募集情報

- ☒ 会員(担い手)
- ☒ ボランティア
- ☒ 活動見学
- ☒ 利用者・参加者
- ☒ 寄付
- ☒ 協賛相手

条件・注意事項など

団体概要

設立(活動開始)年:2021年

代表者:伊藤 直人

会員(構成員)数:102人

会員等の年齢層:



活動日時及び場所

【活動日時(頻度)・主な活動場所】
◆こども食堂 平日10~16時 多摩SDC併設所
◆子ども食堂 毎月第3木曜日(一・三・五) 17~19時 区内各所
◆子ども食堂 毎月第3木曜日(一・三・五) 17~19時 区内各所
◆子ども食堂 毎月第3木曜日(一・三・五) 17~19時 区内各所
◆子ども食堂 毎月第3木曜日(一・三・五) 17~19時 区内各所
◆子ども食堂 毎月第3木曜日(一・三・五) 17~19時 区内各所
◆子ども食堂 毎月第3木曜日(一・三・五) 17~19時 区内各所
◆子ども食堂 毎月第3木曜日(一・三・五) 17~19時 区内各所
◆子ども食堂 毎月第3木曜日(一・三・五) 17~19時 区内各所
◆子ども食堂 毎月第3木曜日(一・三・五) 17~19時 区内各所



問い合わせ

担当:伊藤 直人
044-281-4422
towa.sdc@tama-sdc.com
https://tama-sdc.com/
https://www.instagram.com/tamasdc/
https://note.com/tamasdc/
https://www.facebook.com/tamasdc/

4

5

⑥ スマホ教室、寺子屋事業 認定NPO法人かわさき創造プロジェクト

ちょこっと
活動見学あり

3階
体育室

活動目的

(1)若い世代と川崎市に居住するシニアが、地域活性化のために活動する場を提供すること。
(2)地域のニーズに密着した各種のテーマについて、シニアの持つ知恵と経験を活かして解決を図るプロジェクトを創出し地域の活性化に資すること

主な活動・事業内容

(1)市協会のシニア向けパソコン・スマホ教室の開催、公共機関協会のスマホ教室の受託、自主事業のパソコン教室の開催、パソコン・スマホ何でも相談会の開催
(2)シニアリポーターが取材した記事やお役立ち情報をホームページ「かわさき」で発信
(3)年1回の市協会のシニアデザイン後援会の開催
(4)年1回の市協会のシニア初級講座の開催
(5)中野島小学校で「遊びと学びの寺子屋」を開催
(6)手芸等を楽しむながら地域の輪も広がる手芸サロンの開催

活動日時及び場所

【活動日時(頻度)】
月曜日~金曜日のいずれか。原則、午前中。
【主な活動場所】
川崎市全域7区

団体概要

設立(活動開始)年:2005年

代表者:松井 洋一

会員(構成員)数:80人

会員等の年齢層:



↑寺子屋事業の様子

PR

当法人は幅広い事業を展開しております。皆さんのもっている知恵や経験を活かせる場はきっと見つかります。「ボランティア活動に参加したいけれど」と躊躇している皆さん、是非、当法人に加入して貴方の知恵や経験を活かしてください。

募集情報

- ☒ 会員(担い手)
- ☒ ボランティア
- ☒ 活動見学
- ☒ 利用者・参加者
- ☒ 寄付
- ☒ 協賛相手

条件・注意事項など
入会時に理事との面談があり、希望する事業などをお聞かせください。

問い合わせ

事務局:澤田 正浩
070-5544-9589
secretary@kawasaki-sozo.net
https://kawasaki-sozo.net/
https://kcp-pcoivjmdofree.com/
http://www.kawasaki-senior.com/

⑦ こどもの外遊び 多摩区こどもの外遊び交流委員会

ちょこっと
活動見学あり

3階
体育室

活動目的

多摩区内および近隣の「子ども」等(乳幼児から青年まで)に「外遊び」の場を提供し、指導し、ともに楽しむことを通じて健全育成に資するとともに、地域の交流拠点としての可能性にも開かれた活動をする。並行して、「外遊び」をみずから実施せんとする市民に資する、人材、および広報資料印刷などの後方支援をおこなうことで、子どもの外遊びの機会拡充をめざす。

主な活動・事業内容

1.「思いっきり外遊び」イベントの開催
毎年、夏と秋に子どもたちがやりたい遊びを思いっきりするイベントの開催。
(モンキーブリッジ、音遊び、木工作、ペーパークラフト、シャボン玉、水遊び、焚き火など)
2.「食つたあ・寝つてく・取組め」イベントの開催
(水遊びの体験とのお楽しみ会)
3.外遊び体験型出し事業
4.外遊び委員会運営事業
5.定例会



PR

子どもの遊びを一緒に楽しみ、最小限の口出し・手出しにとどめ見守って頂ける方上記イベントでのボランティアも募集しています！！気軽ににご参加ください！！

募集情報

- ☒ 会員(担い手)
- ☒ ボランティア
- ☒ 活動見学
- ☒ 利用者・参加者
- ☒ 寄付
- ☒ 協賛相手

条件・注意事項など
※子どもの手本となることのできるひと
※★反面教師の見本となることのできるひと
※※「見学」の場合でも体験をお勧めする場合があります。

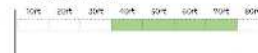
団体概要

設立(活動開始)年:2005年

代表者:奥川 裕

会員(構成員)数:17人

会員等の年齢層:



活動日時及び場所

【主な活動日時】
7月「思いっきり外遊び」イベント(稲田公園)
9月「食つたあ・寝つてく・取組め」イベント(二子公園、二子公園せせらぎ園)
12月「思いっきり外遊び」イベント(生田出張所新広場)
1月「風つくり、薪ストーブイベント(二子公園せせらぎ園、多摩川河川敷)
※その他、定例会(原則第1火曜日の午後:年10回程度)等

↑思いっきり外遊びの様子

問い合わせ

事務局:多摩区役所北城7号館
044-935-3228
71kassui@city.kawasaki.jp
https://www.city.kawasaki.jp/tama/pase/0000026363.html (ホームページ)

6

7

⑧ 居場所、多世代交流 マチノバズル ちょこっと 活動見学あり **3階 体育室**

活動目的
ヒト、コト、モノをつなげ、「まち」という多世代交流の場を創る。
誰もが自分らしく、楽しく、輝き、ともに育ち、ともに学び、ともに助け合う社会を目指す。

主な活動・事業内容
①まちライブラリー：多世代交流の居場所の運営。地域の活字や読書の空気を盛り上げる。提供してもらい、本やお茶や等を置いて人が集まる場を創る。平日の学校以外の子どもの居場所、子育てや高齢で孤立しがちな人々の居場所等、家庭や学校、会社以外の「サードプレイス」。
稲田坂の他、多摩区内で数カ所運営。
②マチノバズル農園部：土いじりを通じた多世代交流の活動運営。地域の店舗や施設等の空きスペースを使って花や野菜の栽培をする。作業のかたわらで生まれる自然な交流の他、収穫した野菜を使ったイベント等を企画。
稲田坂の他、多摩区内で数カ所運営。

活動日時及び場所
【活動日時(頻度)】
毎月第一水曜日、第三火曜日、その他(不定期)
【主な活動場所】
稲田坂、よみうりランド、登戸他(主に多摩区)

団体概要
設立(活動開始)年:2023年
代表者:落地 美津子
会員(構成員)数:5人
会員等の年齢層:
10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代



↑マチノバズル農園部のメンバー

PR 多世代交流の場をどう企画するか? 自分の得意分野、興味分野を反映させて考える楽しみがあります。運営するメンバーが学生、ミドル、シニア、と世代にバリエーションがあるので、活動することそのものが多世代交流を体験しています。自分たちが企画する集客率に驚嘆するサポーターたちと、さうにながりの幅が広がり、充実した関係を育むきっかけとなります。

募集情報

☒ 会員(担い手) ☒ ボランティア
☒ 活動見学 ☒ 利用者・参加者
☒ 寄付 ☒ 協賛相手

条件・注意事項など
会員(担い手)、利用者・参加者の区分けを明確にせず、自主的にやりたい企画があれば、いつでも、参加して構いません。主体性に任される活動。

問い合わせ

担当:落地美津子
080-2395-0594
machinoquzle@gmail.com
https://www.instagram.com/machinoquzle/
https://x.com/machinoquzle



8

⑨ 防災活動 多摩区自主防災組織連絡協議会 ちょこっと 活動見学あり **4階 第6会議室**

活動目的
「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を持ち、住民同士が助け合って災害に備え、災害を乗り越えることができるよう活動する組織が自主防災組織です。
当協議会は、区内の各自主防災組織相互の連携を密にし、自主防災体制を充実、強化することを目的に組織されています。

主な活動・事業内容
自主防災組織の主な活動・事業内容
【平常時】
防災に関する知識の広め、防災、防災資機材の調査・管理、炊出し・初期消火等の防災訓練等
【災害時】
情報の収集・伝達、避難誘導、安否確認、救出・救助活動、応急活動・初期消火活動の実施、仮所による避難所の開設・運営等

活動日時及び場所
【活動日時(頻度)】
不定期(主に土日)
【主な活動場所】
区内各地域(学校、公園、マンション敷地内等)

団体概要
設立(活動開始)年:1996年
代表者:会長 斎賀 健夫
会員(構成団体)数:139団体
会員等の年齢層:
10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代



PR 自主防災組織では、消火訓練、救出救助訓練、給食・給水訓練等、地域ごとに様々な訓練を実施しています。いつ発生するか分からない災害に備えるためにも、ご近所などで実施している防災訓練にご参加ください。

募集情報

☒ 会員(担い手) ☒ ボランティア
☒ 活動見学 ☒ 利用者・参加者
☒ 寄付 ☒ 協賛相手

条件・注意事項など

問い合わせ

事務局:多摩区防災危機管理課
044-935-3146
71kika@city.kawasaki.jp
—
—
—

9

⑩ 町内会活動 多摩区町会連合会 **4階 第6会議室**

活動目的
区内88の町内会・自治会によって構成され、明るく住みよいまちづくりと地域の振興を目指して、各町内会・自治会相互の情報交換、行政機関や防犯協会、防火協会などの関係団体との連絡調整を行うなど、町内会・自治会の円滑な運営の推進のための取り組みを進めています。

各町内会・自治会の主な活動・事業内容
・安心して暮らせるまちづくり
→子どもの登下校時や夜間のパトロール等
・災害に強いまちづくり
→平常時には防災訓練等の実施、災害時には初期消火や救出救助活動、炊き出し等
・きれいなまちづくり
→ごみの集積場の維持管理や資源の分別収集、公園・道路の清掃
・ふれあいのあるまちづくり
→お祭り、ラジオ体操、運動会などいろいろな世代が集い交流するイベントを開催
・情報を共有するまちづくり
→町会だより等での情報発信、「市政だより」やその他の報知物の編集・掲示

活動日時及び場所
【活動日時(頻度)】
各町内会・自治会によってさまざまです。

団体概要
設立(活動開始)年:1972年
代表者:黒沼 健夫
加入世帯数(区内):約58,000世帯



↑自然派のスクリーン



↑防災訓練

PR 地域の皆様が活躍して明るく住みよいまちづくりを行っており、年間を通して様々な活動を行っています。是非一緒に活動しましょう。

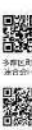
募集情報

☒ 会員(担い手) ☒ ボランティア
☒ 活動見学 ☒ 利用者・参加者
☒ 寄付 ☒ 協賛相手

条件・注意事項など
お住まいの地域の町内会・自治会をお知りになりたい場合は、加入連絡票を提出したくか右記のフォームへの入力をお願いします。

問い合わせ

事務局:多摩区町会連合会
044-935-3133
71tsin@city.kawasaki.jp
http://www.tamaki-chouren.com/
https://logoform.jp/form/FUQZ/455578



10

⑪ 緑地保全 まほろばの会 ちょこっと 活動見学あり **4階 第3会議室**

活動目的
① 森林の保全
② 健康増進
③ 仲間づくり

主な活動・事業内容
① 下草刈り
② 竹林間伐
③ 遊歩道整備・清掃
④ 樹木・草花の保護
⑤ 植物観察会・シタノの祭りなど

活動日時及び場所
【活動日時(頻度)】
毎月第3土曜日9時30分～11時30分
【主な活動場所】
「まほろばの里」(曹馬場谷(やと)特別緑地保全地区)

団体概要
設立(活動開始)年:2004年
代表者:矢沢 義行
会員(構成員)数:12人
会員等の年齢層:
10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代



↑土留め機設置の様子



↑登山作業後の憩いの様子

PR 昨年、活動歴20周年を迎えました。2017年には「緑の豊饒国土交通大賞」を受賞致しました。その他、川崎市里山景観賞、市長からの感謝状などを頂いております。次世代の「活動者大募集」をしております、是非見学に来てください!

募集情報

☒ 会員(担い手) ☒ ボランティア
☒ 活動見学 ☒ 利用者・参加者
☒ 寄付 ☒ 協賛相手

条件・注意事項など
草手、汗拭き、飲料水持参

問い合わせ

担当:鈴木 裕
FAX:044-954-2955
tsune@sima.biglobe.ne.jp

11

12

公園の愛護活動
多摩区内の公園緑地愛護団体

ちよこっぴ
活動見学あり

4階
第3会議室

活動目的

川崎市では、まちの美化や地域コミュニティの発展、市民の公園や緑地等への愛着を高めることを目的に、令和6年4月1日現在、区内の163公園緑地のうち、112の公園緑地において、除草・清掃等の維持管理活動などが地域の高齢のボランティアにより行われています。

主な活動・事業内容

・公園内の除草、清掃
・事故時の連絡
・草花の育成
・遊具点検
・事故時の連絡
・低木の刈り込み
・公園の利用調整 等々

※公園緑地推進会と管理運営協議会では活動内容が異なります。

活動日時及び場所

【活動日時(頻度)】
週1回～月1回程度(団体により異なります)

【主な活動場所】
愛護団体が活動されている112の公園緑地

団体概要

設立(活動開始)年: 団体によりまち

代表者: 団体によりまち

会員(構成員)数: 団体によりまち

会員等の年齢層:
愛護団体の会員のうち、55%が70代以上(「令和3年度公園緑地愛護会・管理運営協議会アンケート」より)



PR

公園緑地のきれいを守る活動に参加してみませんか！
公園緑地でボランティア活動に興味のある方は、ぜひご連絡ください！！

募集情報

☒ 会員(担い手) ☒ ボランティア

☒ 活動見学 ☒ 利用者・参加者

☒ 寄付 ☒ 協働相手

条件・注意事項など

問い合わせ

多摩区民生活センター
電話: 044-946-0064

7160@kvo@city.kawasaki.jp
https://www.city.kawasaki.jp/tamaku/category/98-6-6-0-0-0-0-0-0.html



12

13

見守り・相談
多摩区民生委員児童委員協議会

ちよこっぴ
活動見学あり

4階
第1会議室

活動目的

区内8つの地区民生委員児童委員協議会(稲田東、登戸、菅第一、菅第二、稲田中野南、生田東、生田中央、生田第2)の相互の連絡調整、会員の資質向上及び情報交換を図ります。

主な活動・事業内容

(1) 各地区民生委員児童委員協議会の連絡調整及び協力
(2) 民生委員児童委員の資質向上のための研修実施及び互助会
(3) 川崎市多摩区社会福祉協議会等関係団体との連携協力
(4) その他目的達成のために必要な事業

■生活上の心配事や困りごと、子育てや介護の不安などの相談に応じ、必要な支援が受けられるよう行政や専門機関へのつなぎ役を担います。
■定期的な訪問などを通じて、高齢者、障がい者、子育て家庭等、住民の生活を見守ります。
■地域での孤立を防ぐために、高齢者や子育て家庭を対象にしたサロンや交流の場への参加を促す活動をしています。

活動日時及び場所

【活動日時(頻度)】
【区】毎月第二木曜日に定例会を実施しています。
【地区】地区によって異なります。
【主な活動場所】
【区】福祉バスター、その他地区内の各種イベントに出展しています。
【地区】地区によって異なります。サロン活動や登下校見まもり活動、カフェを実施している地区もあります。

団体概要

設立(活動開始)年: 1976年

代表者: 木澤 静雄

民生委員児童委員数: 217人

会員等の年齢層:



イベント参加時の様子

PR

誰もが安心して生活できる地域づくりのために日々活動し、自治体や町内会、行政、社会福祉協議会などの関係機関と連携して地域の絆作りを進めています。地域の身近な相談相手として「きづき・つなぎ・みまもり」します。

募集情報

☒ 会員(担い手) ☒ ボランティア

☒ 活動見学 ☒ 利用者・参加者

☒ 寄付 ☒ 協働相手

条件・注意事項など
原則72歳未満の方。
町内会・自治会からの推薦が必要です。
3年に1度、委員の改選があります。

問い合わせ

窓口: 多摩区役所福祉ケア推進室
電話: 044-935-3295

7160@kvo@city.kawasaki.jp
https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000090571.htm



13

14

ボランティア
多摩サポーターズ

ちよこっぴ
活動見学あり

4階
第1会議室

活動目的

多摩区在住の雑草等で困っている高齢者、障害者等に対し、ボランティア活動として雑草の刈込み等を行うことにより、心身共に明るく健康で安心・安全に住める地域の向上に貢献すること。

主な活動・事業内容

・家の周りの雑草の刈込み 簡単な庭木の剪定・伐採および清掃。
・原則として 体力的・経済的に自力で対応できない高齢者・障害者(高齢者が活動の対象)。
・その他本会の目的を達成するために必要な関連活動。

活動日時及び場所

【活動日時(頻度)】
作業日: 1～2回程度/月 定例会: 原則 1回/月

【主な活動場所】
作業場所: 多摩区内 定例会: 福祉バスター内

団体概要

設立(活動開始)年: 2006年

代表者: 加藤 寛之

会員(構成員)数: 15人

会員等の年齢層:



作業の様子

PR

庭の草木の手入れ・剪定が好きな方や地域がある方の参加をお待ちしています。この集まりは、メンバーが楽しく活動を進めるだけでなく、一人暮らしの利用者の話し相手にもなるので、直に喜んでいただけることを実現できます。

募集情報

☒ 会員(担い手) ☒ ボランティア

☒ 活動見学 ☒ 利用者・参加者

☒ 寄付 ☒ 協働相手

条件・注意事項など
会員: 老若男女どなたでも
利用者: 多摩区内在住のひとり暮らしの高齢者、障害者等

問い合わせ

多摩区社会福祉協議会 地域課
電話: 044-935-5500

tamaku@cswn-kawasaki.or.jp



14

15

ボランティア相談
川崎市多摩区社会福祉協議会(ボランティア事業)

ちよこっぴ
活動見学あり

4階
第1会議室

活動目的

「社会福祉協議会」とは、社会福祉法に定められた公益性の高い民間の福祉団体です。略して「社協」と呼ばれています。
多摩区社協では、地域住民はもちろん、町会・自治会、民生委員・児童委員、各種福祉施設、障害者等当番奉仕団やボランティアグループ、その他様々な団体が連携して、「ふだんのくらしのしあわせ」の実現を目指し、地域の困りごとを解決していくために活動をしています。
また、区民の福祉についての意識の高揚と区内ボランティア活動の発展的な推進を目的として、多摩区ボランティアセンターを設置し、運営しています。

主な活動・事業内容

多摩区ボランティアセンターでは、電話や来所によるボランティア相談の受付や、区社協のHPを活用したボランティア情報の発信、ボランティア情報誌「たまぼら」の作成、災害ボランティアの啓発などを行っています。
また、寄せられた相談に応じたボランティア入門講座の開催や、学生と高齢者の交流事業などを開催し、ボランティア活動に関する人材の育成および発信を行っています。

団体概要

設立(活動開始)年: 1973年

代表者: 会長 大澤 敏夫

会員(構成員)数: 120団体

活動日時及び場所

【活動日時(頻度)】
開館日時: 月～土曜日 8:30～17:00(研修室、ボランティアコーナーの利用は火・木曜日21:00まで)
【主な活動場所】
多摩区内



↑「積極ボランティア入門講座」の様子

PR

人と繋がるのが好きな方や地域のボランティア活動に興味のある方、多摩区の地域をより良くしていきたいという思いのある方など、是非ご相談お待ちしております！！

募集情報

☒ 会員(担い手) ☒ ボランティア

☒ 活動見学 ☒ 利用者・参加者

☒ 寄付 ☒ 協働相手

条件・注意事項など
会員になるためには、申請書提出の上、常任委員会で審査があります。

問い合わせ

多摩区社会福祉協議会 地域課
電話: 044-935-5500

tamaku@cswn-kawasaki.or.jp
http://www.tamaku-shikyo.jp/
https://www.facebook.com/tamaku-shikyo/



15

【資料5】フロアマップ&ブース早見表

フロアマップ & ブース早見表

資料5

団体名	ジャンル	
3階視聴覚室		
① 多摩区観光協会ガイド部会	観光ガイド	
② 多摩エコスタイルプロジェクト	エコなまちづくり	
③ 多摩区ウォーキング推進委員会	ウォーキング活動	
3階体育室		
④ 多摩区認知症カフェ・地域カフェ交流連絡会	カフェ・居場所の相談・連携	
⑤ (一社)多摩区ソーシャルデザインセンター	こども食堂、中間支援	
⑥ 認定NPO法人かわさき創造プロジェクト	スマホ教室、寺子屋事業	
⑦ 多摩区こどもの外遊び交流委員会	こどもの外遊び	
⑧ マチノパズル	居場所、多世代交流	
4階第6会議室		
⑨ 多摩区自主防災組織連絡協議会	防災活動	
⑩ 多摩区可会連合会	町内会活動	
4階第3会議室		
⑪ まほろばの会	緑地保全	
⑫ 多摩区内の公園緑地愛護団体	公園の愛護活動	
4階第1会議室		
⑬ 多摩区民生委員児童委員協議会	見守り・相談	
⑭ 多摩サポーターズ	ボランティア	
⑮ 川崎市多摩区社会福祉協議会(ボランティア事業)	ボランティア相談	
お楽しみブース名		実施主体
4階第2会議室		
A アタマの健康チャレンジ！(タブレットで5つのゲームに挑戦)	多摩区役所地域支援課	

・階の移動には3連エレベーター(EVL.2～EVL.4)をご利用ください。
 ・地下駐車場に駐車された方は、発券された駐車券を3階大会議室前の総合受付に提示いただくと、1時間分の駐車料金が無料になります。
 ・急な体調不良などありましたら3階総合受付またはお近くの職員にお知らせください。

【資料6】活動見学一覧

ちよこつと活動見学に関する留意事項

- ・本日(1/25)のイベント会場での申し込みが必要ですが(当日飛び入り参加は原則お断りします)。
- ・申し込みは、11:20から3階 大会議室で受け付けます(各団体のブースでは受け付けません)。
- ・先着順で受け付けます。定員に達し次第、当該活動見学の申し込みを締め切ります。
- ・お一人につき3つまで申し込み可能です。なお、この場で参加が決定するのは優先順位が最も高い1つのみです。2つ目以降の活動見学の参加について、本イベント終了後の空き状況により決定します。



3階
[活動見学]
[大会議室]
[受付]
[トイレ]
[エレベーター]
[階段]
[出口]

資料6

百間は一見に如かず!
ちよこつと活動見学!
活動見学一覧

活動見学No. 1 観光ガイドツアーの下見に同行! (定員5名) (①多摩区観光協会ガイド部会) 開催日時: 3月6日(木) 10:00~12:00 活動場所: JR西武保谷駅から川崎市緑化センターまで	活動見学No. 6 会員が講師を務めるスマホ講座を見学! (定員5名) (⑥認定NPO法人かわさき創造プロジェクト) 開催日時: 2月21日(金) 9:35~12:00 活動場所: 麻生市民交流館やまゆり(麻生区上麻生1-11-5)	活動見学No. 11 公園緑地の整備を体験! (定員10名) (⑪多摩区内の公園緑地整備団体) 開催日時: 2月26日(水) 9:40~11:30 活動場所: 狛形6丁目緑の目公園(狛形6-16-11)
活動見学No. 2 活動を進めるための定例会議を見学! (定員5名) (②多摩区コストスタイルプロジェクト) 開催日時: 2月15日(土) 9:20~11:30 活動場所: 福祉パルクたま(荻野1891 第3号出ビル3階)	活動見学No. 7 寺子屋事業(学習支援教室)を見学! (定員5名) (⑦認定NPO法人かわさき創造プロジェクト) 開催日時: 3月7日(金) 14:05~15:30 活動場所: 中野島小学校(中野島3-12-1)	活動見学No. 12 公園緑地の整備を体験! (定員10名) (⑫多摩区内の公園緑地整備団体) 開催日時: 3月1日(土) 13:40~15:30 活動場所: 堀北公園(堀北1-6)
活動見学No. 3 健康ウォークコースの下見に同行! (定員5名) (③多摩区ウォーキング推進委員会) 開催日時: 1月30日(木) 9:30~12:00 活動場所: 小田急保生駅から王様ふさふさと公園まで	活動見学No. 8 ブレイクダンス開催の様子を見学! (定員5名) (⑧多摩区こどもの外遊び交流委員会) 開催日時: 2月2日(日) 9:50~11:30 活動場所: 三田第2公園(三田1-26-14)	活動見学No. 13 子育てサロンひよこの活動を見学! (定員10名) (⑬多摩区民生委員児童委員協議会) 開催日時: 3月18日(火) 10:10~12:00 活動場所: K.F.J 多摩すかいさっず(荻野2249-1 4階)
活動見学No. 4 みた・まちもりカフェの歌声企画を見学! (定員5名) (④多摩区認知症カフェ・地域カフェ交流連絡会) 開催日時: 3月13日(木) 13:30~15:30 活動場所: みた・まちもりカフェ(三田1-13 ソフトタウン生田104)	活動見学No. 9 まちライブラリーの活動を見学! (定員5名) (⑨まちノバズル) 開催日時: 2月18日(火) 14:30~15:40 活動場所: 伝説の美容室フォルトゥーナ(第3-6-6 ルグナミ稲田様)	活動見学No. 14 ゆるカフェミンジーを見学! (定員5名) (⑬多摩区民生委員児童委員協議会) 開催日時: 3月18日(火) 12:50~14:00 活動場所: 大井自治会公民館(西生田2-12-9)
活動見学No. 5 多摩SDC主催の子ども食堂を見学! (定員7名) (⑤(一社)多摩区ソーシャルデザインセンター) 開催日時: 2月20日(木) 16:00~19:00 活動場所: 多摩区ソーシャルデザインセンター事務所(多摩区総合庁舎内)	活動見学No. 10 緑地の整備を体験! (定員10名) (⑩まほろばの会) 開催日時: 3月15日(土) 9:40~11:30 活動場所: 菅島場谷特別緑地保全地区(通称 まほろばの杜)	活動見学No. 15 おしゃべりサロン「いちにのさん」でボランティア体験! (定員3名) (⑮川崎市多摩区社会福祉協議会) 開催日時: 3月26日(水) 9:15~12:00 活動場所: 長尾老人いこいの家(長尾1-12-7)

健康ブース

資料 7

アタマの 健康チャレンジ！



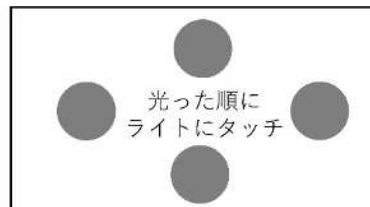
脳体力チェックで、
いつまでもやりたいことを続けられる
「あなた」に！

タブレットを用いて、5つのゲームを体験します。ゲームを通して記憶力、空間認識力などの今日の脳体力を測ります。自分の認知機能の得意・不得意を知り、日常生活を振り返ってみませんか。

(例)

—昨日は、何月何日でしたか？

9月 24日	9月 26日	9月 25日
9月 27日	9月 22日	9月 23日



- 4 階第 2 会議室で行います。
- 所要時間は 15 分程度です。
- ブースの混雑緩和のため整理券を配布します。

《配布場所》 4 階第 2 会議室前

《配布開始時刻》 第 1 部終了次第 (11:10頃)

- 整理券に記載されている集合時間にお集りください。

1 回目：11:15 (3名) 2 回目：11:35 (3名)

3 回目：11:55 (3名) 4 回目：12:15 (3名)

【アタマの健康チャレンジ！】

11時15分 集合

《4階第2会議室》

以下の項目を記入の上、お越しください

生年月日： 年 月 日

【配布開始 11:10】

整理券

【資料8】参加者アンケート



参加者アンケート

資料8

オリジナルエコバッグ配布用設問

事務局使用欄

第2部で、どの団体のブースで活動紹介の説明を聞きましたか（複数回答可）

- | | |
|---|---|
| ☐ ①多摩区観光協会ガイド部会 | ☐ ⑨多摩区自主防災組織連絡協議会 |
| ☐ ②多摩エコスタイルプロジェクト | ☐ ⑩多摩区町会連合会 |
| ☐ ③多摩区ウォーキング推進委員会 | ☐ ⑪まほろばの会 |
| ☐ ④多摩区認知症カフェ・地域カフェ交流連絡会 | ☐ ⑫多摩区内の公園緑地愛護団体 |
| ☐ ⑤(一社)多摩区ソーシャルデザインセンター | ☐ ⑬多摩区民生委員児童委員協議会 |
| ☐ ⑥認定 NPO 法人かわさき創造プロジェクト | ☐ ⑭多摩サポーターズ |
| ☐ ⑦多摩区こどもの外遊び交流委員会 | ☐ ⑮川崎市多摩区社会福祉協議会(ボランティア事業) |
| ☐ ⑧マチノパズル | |

1 本日のイベントについては何で知りましたか。

- ☐市政だより ☐市ホームページ ☐チラシ ☐タウンニュース ☐SNS (Facebook、X など)
☐かわさき SDGs パートナー向けメール配信 ☐人から聞いた ☐自身が参加している地域団体への依頼
☐その他 ()

2 なぜ本日のイベントに参加しようと思いましたか（複数回答可）。

- ☐今まさに、地域でのつながりが無いことに課題を感じていたから
☐（退職後など）将来的に、地域でのつながりが無いことに課題を感じたから
☐地域活動団体の活動について知りたかったから ☐地域活動団体に加入してみようと思ったから
☐知人・友人に誘われたから ☐その他 ()

3 本日のイベントに参加して良かったと感じる点はなんですか（複数回答可）。

- ☐地域でつながりをつくることの重要性が分かった
☐地域活動団体や地域で活動する人とのつながりを深めることができた
☐地域活動に興味を持つきっかけになった ☐地域活動に参加してみたいと思った
☐地域活動団体の活動について知ることができた ☐その他 ()
☐特に良かった点はなかった

4 あなたは、普段、地域でのつながりが希薄だと感じますか。

- ☐とても感じる ☐感じる ☐どちらともいえない ☐感じない ☐全く感じない

5 4で「とても感じる」「感じる」と回答した方にお聞きます。

地域でのつながりづくりができていない理由は何ですか（複数回答可）。

- ☐仕事等で時間が無い ☐そもそもつながりの必要性を感じていない ☐人付き合いが苦手
☐地域活動に1度参加すると、辞めづらいイメージがある
☐地域活動団体は、人間関係が面倒なイメージがある
☐その他 ()

裏面に続きます

6 本日の講演や事例紹介、パネルディスカッションを聞いた感想や、和教授や登壇者に聞いてみたいことがありましたら、ご自由にお書きください。

()

※いただいた御質問は教授や登壇者に確認の上、2月末頃を目途に企画課から返答いたしますので、連絡先のメールアドレスをご記入ください（回答不要の場合は、記入不要です）。

メールアドレス（ ）

7 あなたは「ちょこっと活動見学！」に申し込みましたか。

☐申し込んだ ☐申し込まなかった

8 7で「申し込まなかった」と回答した方にお聞きます。

申し込まなかった理由はなんですか（複数回答可）

☐興味のある活動見学がなかった ☐予定が合わなかった ☐第1部が目的だった
☐活動場所まで行くこと、または帰ることが難しかった ☐活動見学に参加すると、辞めづらいと思った
☐その他（ ）

9 興味のある地域活動団体のジャンルはなんですか（複数回答可）。

☐料理・食生活 ☐ペット ☐子育て ☐アート・芸術 ☐写真・映像 ☐園芸
☐文学・語学 ☐まちづくり ☐国際交流 ☐人権・男女共同参画
☐その他（ ）

10 その他、イベント全体を通じてご感想やご意見がありましたらご自由にお書きください。

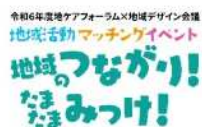
()

最後に以下の情報をご記入ください。

年齢	☐ 10代以下 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上
職業	☐ 会社員（経営者含む） ☐ 自営業 ☐ パート・アルバイト ☐ 主婦・主夫（家事専業） ☐ 無職（収入が年金のみの方を含む） ☐ 学生

ご協力いただきまして、ありがとうございました。

(団体参加者用アンケート)



団体参加者アンケート

資料 8

本日はありがとうございました。

第1部の内容について、アンケートにご協力ください。アンケートは3階総合受付前で回収させていただきます。

右の二次元コードからも回答できます。



※第2部やイベント全体のアンケートについては、別途、団体の代表者様宛て依頼いたします。

1 年齢

☐ 10代以下 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上

2 職業

☐ 会社員（経営者含む） ☐ 自営業 ☐ パート・アルバイト ☐ 主婦・主夫（家事専業）
☐ 無職（収入が年金のみの方を含む） ☐ 学生

3 本日の講演や事例紹介、パネルディスカッションを聞いた感想や、和教授や登壇者に聞いてみたいことがありましたら、ご自由にお書きください。

※いただいた御質問は教授や登壇者に確認の上、2月末頃を目途に企画課から返答いたしますので、連絡先のメールアドレスをご記入ください（回答不要の場合は、記入不要です）。

メールアドレス（ ）

ご協力いただきまして、ありがとうございました。

(2) 広報

全世代向けのチラシに加え、現役世代で「定年退職前に地域とのつながりをつくっておきたい」と考えている人、または、つながりづくりに関心がなかった人向けのチラシも作成し、ターゲットに届く広報を行った。

●主な広報先

(全世代向け)

- ・市 HP
- ・情報プラザ経由での市内各施設への配架
- ・タウンニュース麻生区・多摩区版への記事掲載

(現役世代向け)

- ・市内中小企業宛て送付
1,263 社
- ・かわさき SDGs パートナー・ゴールドパートナー向けメール(市 HP への誘導)
3,345 者 (令和 6 年 6 月 25 日現在)

【全世代向けチラシ】

令和6年度地ケアフォーラム×地域デザイン会議
地域活動 マッチングイベント

地域つながり! たまたまみつけ!

働き方や環境の変化により、希薄になる“人とのつながり”。
地域で活動する人の話を聞いて、
つながるきっかけをつかってみませんか?

参加無料・申込不要
途中入退場自由

好きや得意な
活動したい!

2025/1/25日
10:00 ▶ 12:30(9:45開場)
会場:多摩市民館3階大会議室ほか
(多摩区登戸1775-1)

誰かの役に
立ちたい!

プログラムは裏面

別日で開催!
百問は一見に如かず!
ちよこっと活動見学!

「少し興味が出たので雰囲気を見てみたい」という方向けに、
イベント以後3月末までに、出展団体の活動の様子を見学で
きる機会を設けます!「一人で見学は心細い」という方でも安心!

エコバッグプレゼント!!
限定150個

第2部で複数の団体のブースを回った方に、
オリジナルエコバックをプレゼント!

主催:多摩区
協賛:川崎市多摩区社会福祉協議会(ボランティア事業)
協賛:多摩区社会福祉協議会(ボランティア事業)
協賛:多摩区社会福祉協議会(ボランティア事業)
協賛:多摩区社会福祉協議会(ボランティア事業)

令和6年度地ケアフォーラム×地域デザイン会議
地域活動 マッチングイベント

地域つながり! たまたまみつけ!

百問は一見に如かず!
ちよこっと活動見学!

「少し興味が出たので雰囲気を見てみたい」という方向けに、
イベント以後3月末までに、出展団体の活動の様子を見学で
きる機会を設けます!「一人で見学は心細い」という方でも安心!

第1部 地域・人とながらってなんだろう? (10:00~11:00)
講演 地域が能く専門の和歌山から地域活動の意義をお話しします。
パネルディスカッション “地域活動の真実”、“最近活動を始めたい人”、“これから始めてみたい人”が登壇し、和歌山と地域活動を語り合います。

第2部 活動団体ブース巡り (11:00~12:30)
多摩区で活動している団体がブースを設け、取組を紹介します。
あなたの世界が広がる素敵な出会いが待っています。

紹介団体一覧 (予定)

ボランティア組織 川崎市多摩区社会福祉協議会(ボランティア事業) スマホ教室、赤十字事業 認定 NPO 法人かわさき創造プロジェクト エコなまちづくり 多摩エコスタイルプロジェクト ウォーキング活動 多摩区ウォーキング推進委員会 観光ガイド 多摩区観光協会ガイド部会 こどもの外遊び 多摩区こどもの外遊び交流委員会 防災活動 多摩区自主防災組織連絡協議会	こども食堂、中間支援 (一社)多摩区ソーシャルデザインセンター 町内会活動 多摩区町会連合会 カフェ・居場所の相談・連携 多摩区認知症カフェ・地域カフェ交流連絡会 見守り・相談 多摩区民生委員児童委員協議会 ボランティア 多摩サポーターズ 居場所、多世代交流 マナーバズル 緑地保全 まほろばの会 ほか
--	---

活動見学の留意事項
●百問は一見に如かず!ちよこっと活動見学」の参加申し込みは1/25日イベント会場まで受け付けます。
●見学参加時にはイベント開催に加入いただきます(保険料はかかりません)。

健康ブース
ブース巡りの合間に
アタマの健康チャレンジ!
(人数制限あり)
タブレットを回して
5つのゲーム、挑戦!
脳神経機能の向上・不眠改善に
日常生活を見直すきっかけに!

主催・お問い合わせ
多摩区役所地域ケア推進課 TEL 044-935-3267 FAX 044-935-3276 71kwasu@city.kawasaki.jp
企画課 TEL 044-935-3140 FAX 044-935-3391 71kikaku@city.kawasaki.jp

地ケアフォーラム 検索

【現役世代向けチラシ】

あなたから 家庭や職場を除いたら、 何が残りますか？

働き方や環境の変化により希薄になる“人とのつながり”。

地域で活動する人の話を聞いて、
つながるきっかけをつかってみませんか。

令和6年度ケアフォーラム×地域デザイン会議
地域活動 マッチングイベント

**地域つながり！
なまみつけ！**

2025/
1/25(土)
10時～12時半
(開場9時45分)

会場：多摩市民館3階大会議室 他 (多摩区役所1775-1)

参加無料・申込不要・途中入退場自由

「自分の得意や好きを活かしてやりがいに満ちた生活をしたい」
「定年退職前に地域とのつながりをつくっておきたい」
と考えている方、お待ちしております！

「好き」や「得意」
を活かしたい！

誰かの役に立ちたい！

**別日で開催！
百問一見に知らず！
ちょこっと活動見学！**

少し、本家が当たりので事業所を見学したい！という方の中に、
イベントの終了後に来た時に、出展団体の活動の様子を見学でき
る機会を設けます！1人で見学は難しい、という方でもOK！

本イベントに出展する8団体
各団体のブースを複数回った
人にオリジナルエコバッグ
プレゼント！(数量150個)
※抽選・シリアルナンバー

プログラムは、裏面で！





令和6年度アフォーラム×地域デザイン会議

地域活動 マッチングイベント

地域つながり!

なまなみっけ!

※申込中入選あり

プログラム

第1部 地域・人とながってなんだろう? (10:00~11:00)

講演 地域活動が専門の和歌県から地域活動の意義をお話します。

パネルディスカッション

“地域活動の意義者”、“最近活動始めた人”、
“これから始めてみたい人”が登壇し、和歌と地域活動を探ります。

第2部 活動団体ブース巡り (11:00~12:30)

多摩区で活動している団体がブースを設け、取組を紹介します。
あなたの世界が広がる素晴らしい出会いが待っています。



和 原 健二

紹介団体一覧（予定）

ボランティア情報

川崎市多摩区社会福祉協議会（ボランティア事業）

スマス小教室、寺子屋事業

認定 NPO 法人かわさき創造プロジェクト

エコなまちづくり

多摩区エコスタイルプロジェクト

ウォーキング活動

多摩区ウォーキング推進委員会

遊技大会

多摩区観光協会ガイド部会

こどもの遊び

多摩区こどもの外遊び交流委員会

防災活動

多摩区自主防災組織連絡協議会

こども食堂、中間支援

（一社）多摩区ソーシャルデザインセンター

市内会活動

多摩区民生連合会
カフェ・屋根下の相談・運営

多摩区認知症カフェ・地域カフェ交流連絡会

見守り・相談

多摩区民生委員児童委員協議会

ボランティア

多摩区サポーターズ

居場所、世代交流

マナバズル

緑地保全

まほろばの会

ほか

健康ブース

ブース巡りの合間に（人々のため）
アタマの健康チャレンジ!

タブレットを用いて
5つのゲームに挑戦
認知機能の改善・不摂食
を助けて日常生活を見直す
きっかけに!



百聞は一見に如かず!ちょこっと活動見学!

活動見学の留意事項

- 百聞は一見に如かず!ちょこっと活動見学!の参加申し込みは1/23のイベント会場まで取り付きます。
- 見学希望時にはイベント係員にご記入いただきます(園路係はかかりません)。

主催・お問い合わせ

多摩区健康推進課 TEL 04-935-3140 FAX 044-935-3391 71kikaku@city.kawasaki.jp

地域ケア推進課 TEL 044-935-3267 FAX 044-935-3276 71keasu@city.kawasaki.jp

※申込中入選あり



アフォーラム

【タウンニュース麻生区・多摩区版記事（1月10日（金）号）】

地ケアフォーラム×地域デザイン会議
地域活動 マッチングイベント

地域をつながり！ たまたまみつけ！

参加無料・申込不要・途中入場自由

2025/ **1/25** 土

10:00 ▶ 12:30 (9:45開場)

会場：多摩市民館3階大会議室ほか





COLORS FUTURE ACTIONS
A ZENITHAL INITIATIVE

多摩区

地ケアフォーラム
×
地域デザイン会議

「地域をつながり！ たまたまみつけ！」

1月25日 地域活動マッチングイベント

動き方や環境の変化に
よって、人とのつながり
が希薄になると言われて
いることを受け多摩区は
1月25日(土) 地域活動
マッチングイベント「地
域をつながり！たまた
みつけ！」を多摩市民館
で開催する。午前10時か
ら午後0時30分。参加無
料で事前申込不要、途中
入退場自由。

講演や活動紹介
新たなつながりを見つ
けるきっかけとして開
かれる同イベント。第1
部では、田園調布学園大
学の和秀俊教授が地域活
動の意義について講演。
その後、パネラーとして
地域活動の実践者や最近
活動を始めた人、まだ始
めていない人が登壇し、
和教授と語り合う。

第2部では、多摩区の
多様なジャンル（ウオー
キング活動、ボランティ
ア、エコなまちづくりな
ど）の地域活動団体がそ

れぞれブースを設け、取
れ組みを紹介する。

活動見学もセット
ブースで説明を受け興
味が湧いた参加者は、イ
ベント後3月末までに実
施する。活動見学に申し込
む。活動見学には多摩区
役所職員も同行する。第1
め、一人で見学は心細い
という人でも安心。主催
者「あんなの世界が広
がる素敵な出会いが待っ
ているはず。ぜひご参加
ください」と呼びかけら
る。詳細は区サイト(上
記 次元コード)。問い
合わせは、多摩区役所地
域ケア推進課 ☎044・
9353・3267 または ☎
企画課 ☎044・933
5・3140。

(3) メディア掲載

【東京新聞 令和7年1月14日(火)】

◆地域活動マッチングイベント 地域のつながり！たまたまみつけ！ 25日午前10時～午後0時半 川崎市多摩市民館3階大会議室など。地域で何か始めたいと考えているがまだできていない人を対象に、地域福祉の専門家による講演やパネルディスカッションを開催。区内で活動する各種団体のブースも設けられる。参加無料。問い合わせは企画課 電話044(935)3140へ。

【東京新聞 令和7年1月21日(火)】

情報BOX
かわさき

1部は田園調布学園大教授の和秀俊さんの講演「地域・人とつながってなんだろう？」とパネルディスカッション、第2部は活動団体ブース巡りを開催。参加無料、各部途中入退場自由。(☎044(935)3267=多摩区役所地域ケア推進課。

★地域のつながり！たまたまみつけ！
1月25日10時～12時30分、多摩区登戸1775、多摩市民館3階大会議室ほか。第

【タウンニュース麻生区・多摩区版 令和7年1月31日(金)号】

地域活動へマッチング
参加者が団体と交流

多摩市民館で1月25日、地域活動マッチングイベント「地域のつながり！たまたまみつけ！」が行われた。同場所やつながりを見つけてきつかけを提供しようと、多摩区役所が主催した。

講演では地域福祉を専門とする田園調布学園大教授の和秀俊さんが地域活動の意義を伝えた。「あいさつができる関係が増え、顔見知りが多いことで安心感につながる」と和さんは話した。

会場には地域で活動する15団体が集まった。参加者は興味を持った団体のブースを訪れ、説明に耳を傾けた。イベント後に各団体の活動見学に申し込めるブースも。区の職員も同行し、「一人では心細い」という人も一歩を踏み出しやすいように工夫されていた。

講演する和さん